２０２５年国勢調査―人口等基本集計結果―

目次

Ⅰ　人口 2

Ⅱ　配偶関係 14

Ⅲ　世帯 19

Ⅳ　住居 30

Ⅴ　外国人 37

Ⅵ　大都市の年齢３区分比較【参考】 42

2026年10月

神戸市企画調整局政策課

Ⅰ　人口

1　総人口

総人口は 1,494,997 人（対前回比 30,155 人，2.0%減）

2025 年 10 月 1 日現在の神戸市の人口は 1,494,997 人で，2020 年に比べ，30,155 人，2.0%減少した。

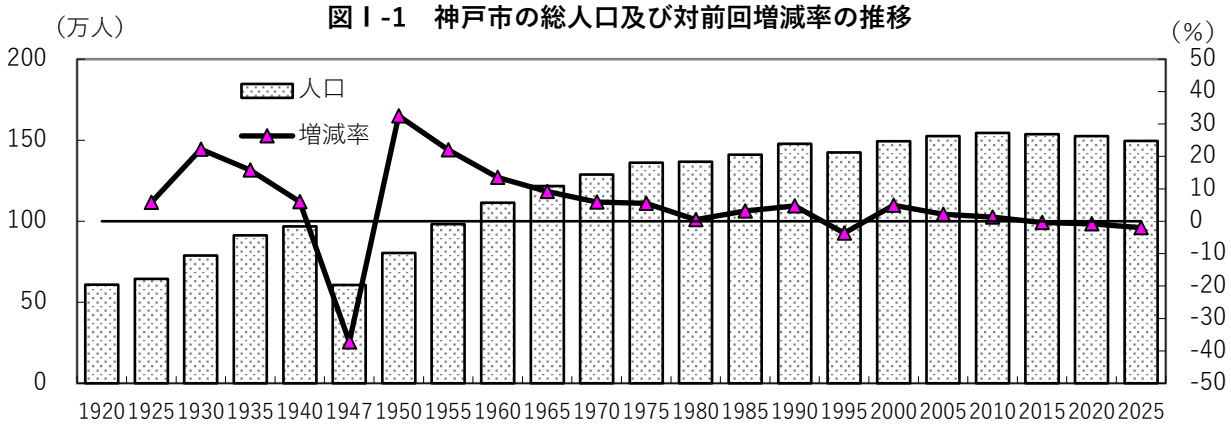
神戸市の人口は，戦後の 1947 年の調査以来，周辺地域の編入やニュータウン開発などにより一貫して増加を続けていたが，1995 年の阪神・淡路大震災によって大量に市外に流出したことから，1995 年の調査では戦後初めて人口増減数がマイナスとなった。

その後人口は増加したが，2010 年の 1,544,200 人をピークに減少し，前回調査では 0.8%減，今回調査では 2.0%減となった。

表Ⅰ-1　国勢調査による人口の推移

年次	面積	世帯数	人口			対前回国勢調査		女100に対する男	1世帯当たり人員	人口密度 1㎢当たり
			総数	男	女	人口増減数	増減率（%）			
1920 年（大正 9 年）	63.58	138,970	608,644	323,946	284,698	…	…	113.8	4.38	9,573
1925 年（ 14 年）	63.58	151,505	644,212	335,762	308,450	35,568	5.8	108.9	4.25	10,132
1930 年（昭和 5 年）	83.06	178,325	787,616	406,348	381,268	143,404	22.3	106.6	4.42	9,482
1935 年（ 10 年）	83.06	198,018	912,179	467,945	444,234	124,563	15.8	105.3	4.61	10,982
1940 年（ 15 年）	83.06	216,076	967,234	491,553	475,681	55,055	6.0	103.3	4.48	11,645
1947 年（ 22 年）	390.50	149,347	607,079	307,772	299,307	▲ 360,155	▲ 37.2	102.8	4.06	1,555
1950 年（ 25 年）	420.64	192,977	804,501	400,225	404,276	197,422	32.5	99.0	4.17	1,913
1955 年（ 30 年）	492.60	231,874	981,318	484,604	496,714	176,817	22.0	97.6	4.23	1,992
1960 年（ 35 年）	530.44	279,599	1,113,977	550,321	563,656	132,659	13.5	97.6	3.98	2,100
1965 年（ 40 年）	533.72	331,388	1,216,666	601,846	614,820	102,689	9.2	97.9	3.67	2,280
1970 年（ 45 年）	537.18	377,473	1,288,937	636,846	652,091	72,271	5.9	97.7	3.41	2,399
1975 年（ 50 年）	539.98	427,031	1,360,605	667,893	692,712	71,668	5.6	96.4	3.19	2,520
1980 年（ 55 年）	542.35	462,281	1,367,390	665,029	702,361	6,785	0.5	94.7	2.96	2,521
1985 年（ 60 年）	544.17	487,849	1,410,834	681,810	729,024	43,444	3.2	93.5	2.89	2,593
1990 年（平成 2 年）	544.55	539,151	1,477,410	712,594	764,816	66,576	4.7	93.2	2.74	2,713
1995 年（ 7 年）	547.40	536,508	1,423,792	683,228	740,564	▲ 53,618	▲ 3.6	92.3	2.65	2,601
2000 年（ 12 年）	549.94	606,162	1,493,398	713,684	779,714	69,606	4.9	91.5	2.46	2,716
2005 年（ 17 年）	552.19	643,351	1,525,393	724,427	800,966	31,995	2.1	90.4	2.37	2,762
2010 年（ 22 年）	552.83	684,183	1,544,200	731,114	813,086	18,807	1.2	89.9	2.26	2,793
2015 年（ 27 年）	557.02	705,459	1,537,272	726,700	810,572	▲ 6,928	▲ 0.4	89.7	2.18	2,760
2020 年（令和 2 年）	557.02	734,920	1,525,152	716,452	808,700	▲ 12,120	▲ 0.8	88.6	2.08	2,738
2025 年（ 7 年）	**556.93**	**767,786**	**1,494,997**	**701,443**	**793,554**	**▲ 30,155**	**▲ 2.0**	**88.4**	**1.95**	**2,684**

図Ⅰ-1　神戸市の総人口及び対前回増減率の推移



全国の都市では８番目の人口規模

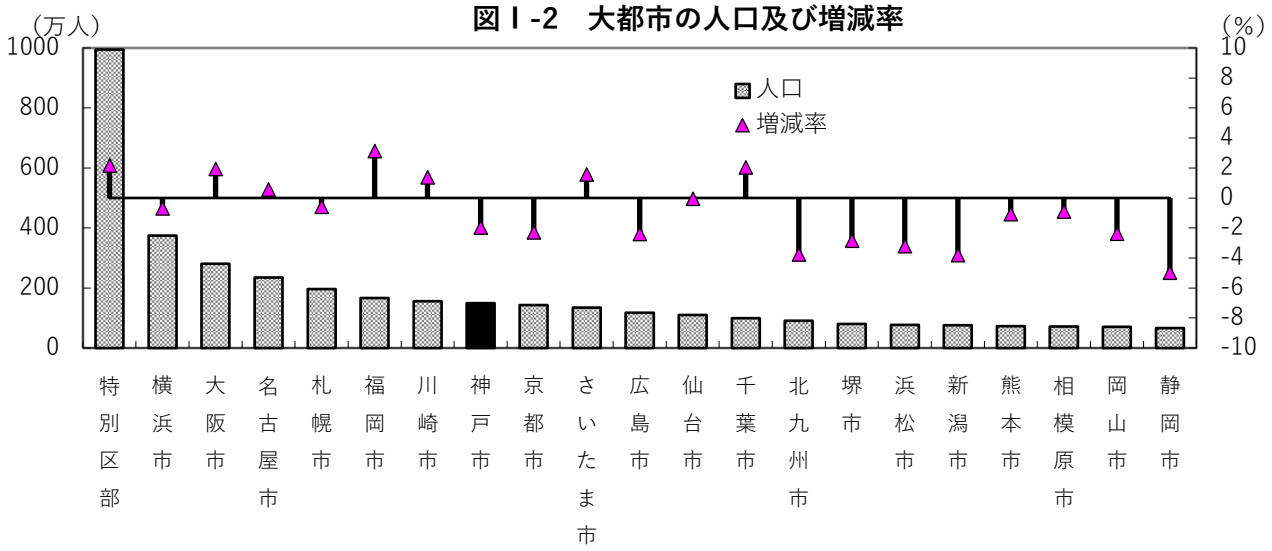
神戸市の人口が兵庫県の人口 5,317,792 人に占める割合は 28.1%となっている。

また，神戸市の人口規模は，東京都特別区部，横浜市，大阪市，名古屋市，札幌市，福岡市，川崎市に次いで８番目となっている。

表Ⅰ-2　大都市の人口

地域	世帯数	人口			対前回国勢調査		女100に対する男	1世帯当たり人員
		総数	男	女	人口増減数	増減率（%）		
特別区部	5,514,196	9,944,109	4,866,823	5,077,286	210,833	2.2	95.9	1.80
横浜市	1,794,480	3,750,952	1,848,267	1,902,685	▲ 26,539	▲ 0.7	97.1	2.09
大阪市	1,591,120	2,805,371	1,346,123	1,459,248	52,959	1.9	92.2	1.76
名古屋市	1,187,231	2,345,186	1,152,077	1,193,109	13,010	0.6	96.6	1.98
札幌市	998,412	1,961,996	914,908	1,047,088	▲ 11,399	▲ 0.6	87.4	1.97
福岡市	888,299	1,662,793	784,478	878,315	50,401	3.1	89.3	1.87
川崎市	776,607	1,559,571	784,319	775,252	21,309	1.4	101.2	2.01
神戸市	**767,786**	**1,494,997**	**701,443**	**793,554**	**▲ 30,155**	**▲ 2.0**	**88.4**	**1.95**
京都市	757,287	1,430,062	674,235	755,827	▲ 33,661	▲ 2.3	89.2	1.89
さいたま市	619,153	1,344,865	660,440	684,425	20,840	1.6	96.5	2.17
広島市	563,975	1,171,915	564,235	607,680	▲ 28,839	▲ 2.4	92.9	2.08
仙台市	551,159	1,096,146	529,609	566,537	▲ 558	▲ 0.1	93.5	1.99
千葉市	480,506	994,846	490,400	504,446	19,895	2.0	97.2	2.07
北九州市	438,769	903,592	427,623	475,969	▲ 35,437	▲ 3.8	89.8	2.06
堺市	371,987	802,648	380,536	422,112	▲ 23,513	▲ 2.8	90.2	2.16
浜松市	332,302	765,254	379,473	385,781	▲ 25,464	▲ 3.2	98.4	2.30
新潟市	336,258	759,139	365,377	393,762	▲ 30,136	▲ 3.8	92.8	2.26
熊本市	339,545	730,882	345,612	385,270	▲ 7,983	▲ 1.1	89.7	2.15
相模原市	344,595	718,908	357,786	361,122	▲ 6,581	▲ 0.9	99.1	2.09
岡山市	335,793	707,387	340,058	367,329	▲ 17,304	▲ 2.4	92.6	2.11
静岡市	298,164	658,781	319,778	339,003	▲ 34,608	▲ 5.0	94.3	2.21
（参考）								
全国	57,324,619	122,972,528	59,772,092	63,200,436	▲ 3,173,571	▲ 2.5	94.6	2.15
兵庫県	2,466,773	5,317,792	2,523,640	2,794,152	▲ 147,210	▲ 2.7	90.3	2.16

図Ⅰ-2　大都市の人口及び増減率



2　男女別の人口

女性人口が男性人口を大きく上回る　－　人口性比 88.4　－

人口を男女別にみると，男性は 701,443 人，女性は 793,554 人で女性が 92,111 人多く，人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は 88.4 となっている。前回調査と比べると，男性は 15,009 人減少，女性は 15,146 人減少し，人口性比は 0.2 ポイント低下した。人口性比は，1970 年以降低下が続いており，全国値の 94.6 を 6.2 ポイント下回った。

人口性比を年齢 5 歳階級別にみると，20 歳未満の各階級では 100 を上回っているが，20～24 歳で急激に 94.5 まで低下し，70 歳未満まではおおむね 90～95 の間を推移している。また，70 歳以上で急激に低下する。全国値は，年齢が高くなるにつれ徐々に低下しており，神戸市はこれと異なった動きをしている。

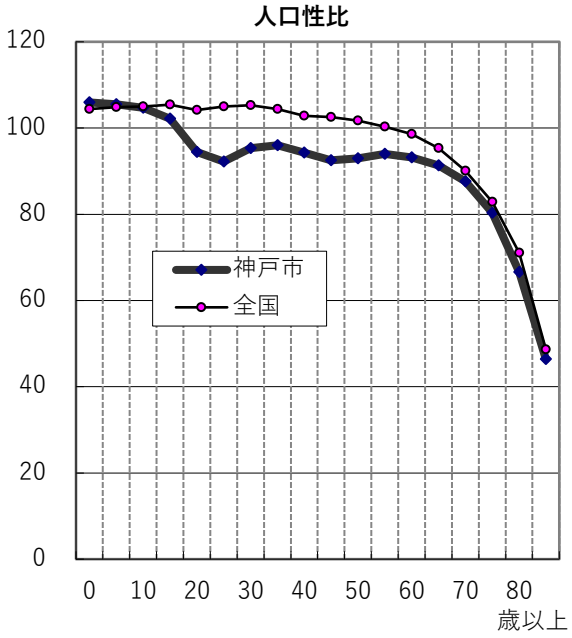
人口性比を区別にみると，兵庫区が 93.9 と最も高く，次いで西区が 92.9 となっている。最も低いのは須磨区で 85.4 である。いずれの区も 100 を下回っており，男性より女性が多くなっている。

表Ⅰ-3　年齢(５歳階級)別　人口性比

年　齢	総　数	男	女	人口性比	(参)全国
総　数	1,494,997	701,443	793,554	88.4	94.6
0～　4 歳	40,679	20,926	19,753	105.9	104.4
5～　9	52,035	26,713	25,322	105.5	104.9
10～　14	59,976	30,672	29,304	104.7	105.0
15～　19	68,055	34,386	33,669	102.1	105.4
20～　24	83,328	40,480	42,848	94.5	104.2
25～　29	73,869	35,444	38,425	92.2	105.0
30～　34	68,050	33,217	34,833	95.4	105.3
35～　39	74,846	36,655	38,191	96.0	104.4
40～　44	86,110	41,784	44,326	94.3	102.8
45～　49	98,965	47,552	51,413	92.5	102.5
50～　54	120,963	58,263	62,700	92.9	101.7
55～　59	108,143	52,403	55,740	94.0	100.3
60～　64	99,335	47,905	51,430	93.1	98.6
65～　69	90,764	43,316	47,448	91.3	95.3
70～　74	95,134	44,429	50,705	87.6	90.1
75～　79	107,235	47,760	59,475	80.3	82.9
80～　84	78,012	31,187	46,825	66.6	71.0
85 歳以上	89,498	28,351	61,147	46.4	48.6

注) 不詳補完値により算出

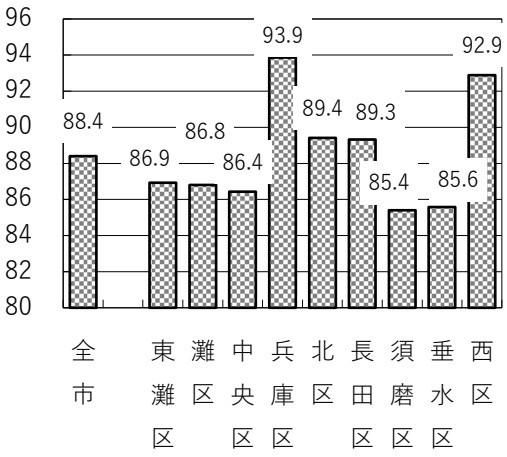
図Ⅰ-3　年齢(5歳階級）別人口性比



表Ⅰ-4　区別　人口性比

区	総　数	男	女	人口性比
全　市	1,494,997	701,443	793,554	88.4
東灘区	211,504	98,361	113,143	86.9
灘　区	137,037	63,675	73,362	86.8
中央区	151,949	70,443	81,506	86.4
兵庫区	111,678	54,070	57,608	93.9
北　区	203,183	95,908	107,275	89.4
長田区	92,901	43,832	49,069	89.3
須磨区	152,394	70,198	82,196	85.4
垂水区	206,457	95,213	111,244	85.6
西　区	227,894	109,743	118,151	92.9

図Ⅰ-4　区別 人口性比



3　年齢別の人口

(1)　年齢３区分

15 歳未満人口，15～64 歳人口が減少し，65 歳以上人口が増加

神戸市の人口を年齢３区分別にみると，15 歳未満人口は 152,690 人，15～64 歳人口は 881,664 人，65 歳以上人口は 460,643 人となっている。

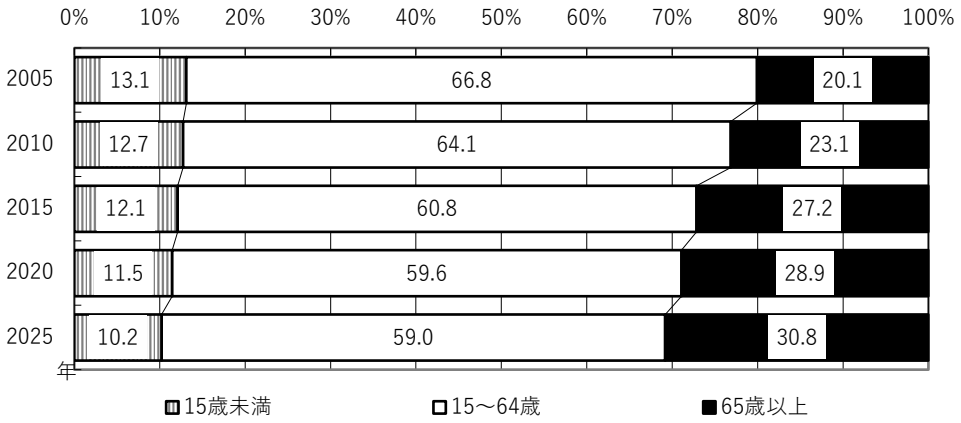
これを前回調査と比べると，15 歳未満人口は 22,176 人減少（対前回増減率▲12.7%），15～64 歳人口は 27,603 人減少（同▲3.0%）し，65 歳以上人口は 19,624 人増加（同 4.4%）した。

年齢別割合は，15 歳未満人口は 10.2%，15～64 歳人口は 59.0%，65 歳以上人口は 30.8%となり，前回調査と比べて，15 歳未満人口割合と 15～64 歳人口割合はそれぞれ 1.3 ポイント，0.6 ポイント低下したが，65 歳以上人口割合は，1.9 ポイント上昇した。

全国値は，15 歳未満人口割合が 10.9%，15～64 歳人口割合が 59.8%，65 歳以上人口割合が 29.4%で，神戸市はこれと比べると 15 歳未満人口は 0.6 ポイント，15～64 歳人口は 0.8 ポイント下回っており，65 歳以上人口は 1.4 ポイント上回っている。

年齢３区分別人口割合の推移をみると，2005 年からの 20 年間で 15 歳未満人口，15～64 歳人口はそれぞれ 2.9 ポイント，7.8 ポイント低下した。一方，65 歳以上人口割合は調査ごとに上昇しており，20 年間で 10.7 ポイント上昇した。

図Ⅰ-5　年齢(3区分）別人口割合の推移



表Ⅰ-5　年齢（３区分）別人口の推移

年　次	人口					年齢別割合　(%)			
	総　数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上
2005 年（平成 17 年）	1,525,393	199,608	1,015,642	305,301	132,153	13.1	66.8	20.1	8.7
2010 年（　22 年）	1,544,200	194,963	980,959	354,218	165,736	12.7	64.1	23.1	10.8
2015 年（　27 年）	1,537,272	185,898	933,972	417,402	197,127	12.1	60.8	27.2	12.8
2020 年（令和　2 年）	1,525,152	174,866	909,267	441,019	229,887	11.5	59.6	28.9	15.1
2025 年（　7 年）	**1,494,997**	**152,690**	**881,664**	**460,643**	**274,745**	**10.2**	**59.0**	**30.8**	**18.4**
男	701,443	78,311	428,089	195,043	107,298	11.2	61.0	27.8	15.3
女	793,554	74,379	453,575	265,600	167,447	9.4	57.2	33.5	21.1
（参考）									
全　国	122,972,528	13,349,001	73,480,843	36,141,613	21,169,152	10.9	59.8	29.4	17.2
兵庫県	5,317,792	594,881	3,111,909	1,610,986	959,281	11.2	58.5	30.3	18.0

注）2015年以降は不詳補完値により算出。

注）2010年以前の総数には年齢「不詳」を含むが，割合は「不詳」を除いて算出。

北区，長田区，須磨区において高い 65 歳以上人口割合

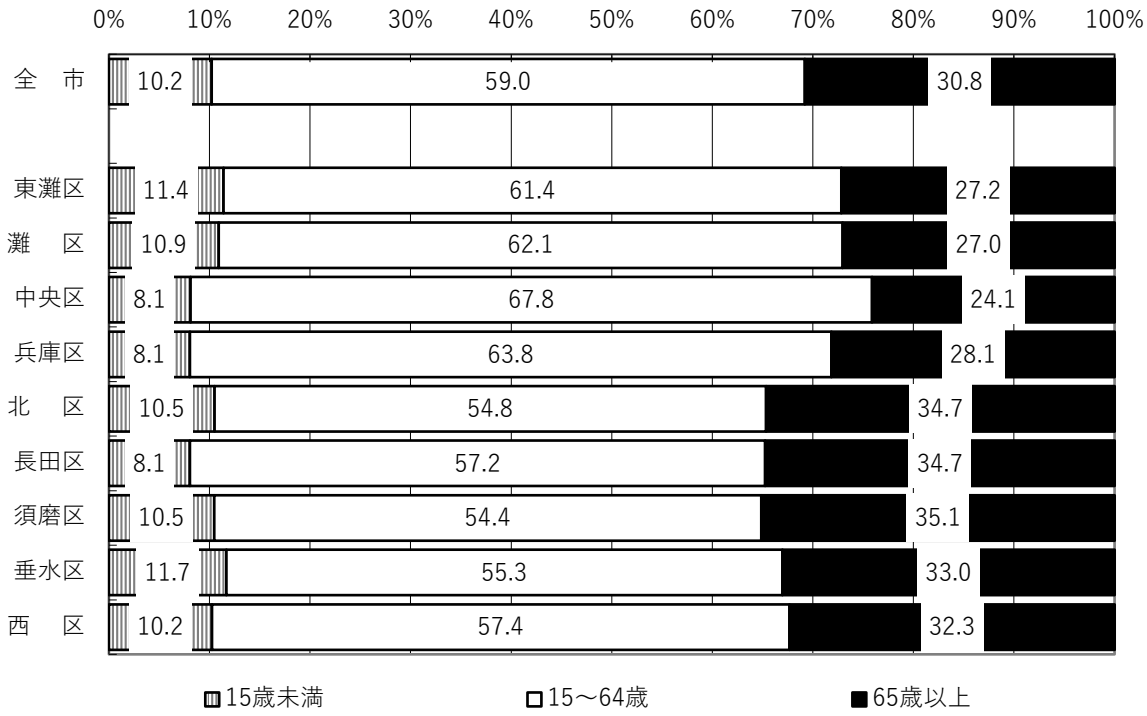
年齢別人口割合を区別にみると，15 歳未満人口割合は，垂水区が 11.7%で最も高く，次いで東灘区で 11.4%，灘区で 10.9%となっている。

15～64 歳人口割合は，中央区が 67.8%と最も高く，兵庫区，灘区，東灘区は他の区に比べ高くなっている。

65 歳以上人口割合は，中央区が 24.1%で，全区で最も低い。一方，最も 65 歳以上人口割合が高いのは須磨区で 35.1%，次いで長田区，北区の 34.7%と続いている。いずれの区も，3，4 人に 1 人程度が 65 歳以上となっており，高齢化がいっそう進んでいることが分かる。

2005 年からの 20 年間の推移をみると，65 歳以上人口割合は中央区と兵庫区を除いて調査ごとに上昇しており，北区が最も増加し，17.6 ポイント上昇した。

図Ⅰ-6　区別　年齢（3区分）別人口割合

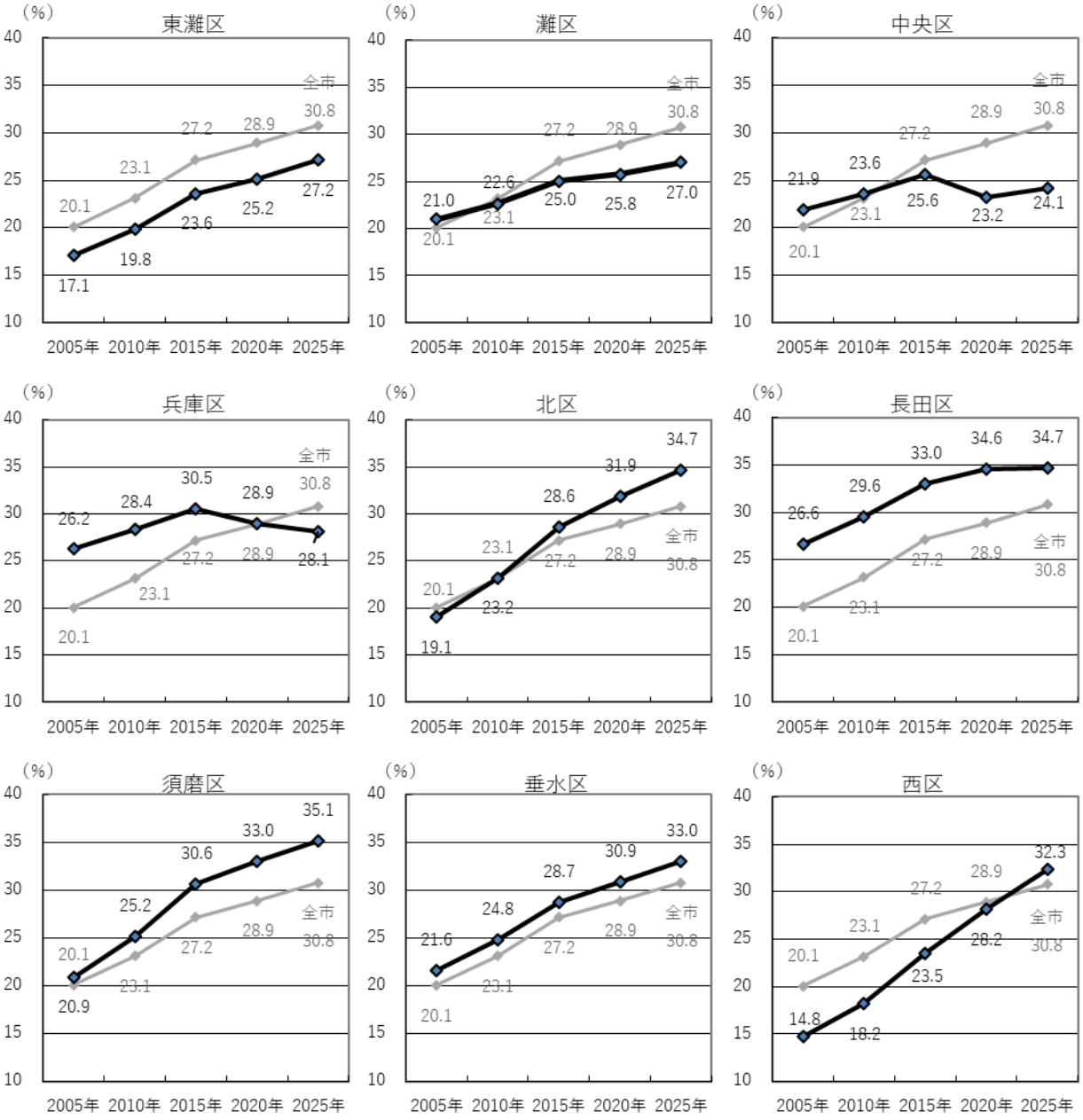


表Ⅰ-6　区別，年齢（3区分）別人口

区	人口					年齢別割合　a)（%）			
	総　数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上
全　市	1,494,997	152,690	881,664	460,643	274,745	10.2	59.0	30.8	18.4
東灘区	211,504	24,104	129,962	57,438	33,328	11.4	61.4	27.2	15.8
灘　区	137,037	14,956	85,035	37,046	22,335	10.9	62.1	27.0	16.3
中央区	151,949	12,358	102,949	36,642	21,382	8.1	67.8	24.1	14.1
兵庫区	111,678	8,995	71,250	31,433	19,429	8.1	63.8	28.1	17.4
北　区	203,183	21,368	111,387	70,428	43,005	10.5	54.8	34.7	21.2
長田区	92,901	7,497	53,139	32,265	20,053	8.1	57.2	34.7	21.6
須磨区	152,394	15,962	82,897	53,535	33,252	10.5	54.4	35.1	21.8
垂水区	206,457	24,114	114,135	68,208	42,118	11.7	55.3	33.0	20.4
西　区	227,894	23,336	130,910	73,648	39,843	10.2	57.4	32.3	17.5

注) 不詳補完値により算出。

図Ⅰ-7　区別　65歳以上人口割合の推移



表Ⅰ-7　区別　65歳以上人口の推移

区	65歳以上人口					人口に占める割合 (%)				
	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	**2025年 (令和7年)**	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	**2025年 (令和7年)**
全市	305,301	354,218	417,402	441,019	**460,643**	20.1	23.1	27.2	28.9	**30.8**
東灘区	35,200	41,526	50,396	53,718	**57,438**	17.1	19.8	23.6	25.2	**27.2**
灘区	26,908	29,860	34,053	35,278	**37,046**	21.0	22.6	25.0	25.8	**27.0**
中央区	25,410	28,696	34,545	34,268	**36,642**	21.9	23.6	25.6	23.2	**24.1**
兵庫区	27,741	30,002	32,659	31,579	**31,433**	26.2	28.4	30.5	28.9	**28.1**
北区	42,965	52,492	62,876	67,189	**70,428**	19.1	23.2	28.6	31.9	**34.7**
長田区	27,584	29,901	32,339	32,788	**32,265**	26.6	29.6	33.0	34.6	**34.7**
須磨区	35,749	42,060	49,730	52,383	**53,535**	20.9	25.2	30.6	33.0	**35.1**
垂水区	47,832	54,608	63,082	66,547	**68,208**	21.6	24.8	28.7	30.9	**33.0**
西区	35,912	45,073	57,722	67,269	**73,648**	14.8	18.2	23.5	28.2	**32.3**
全国(参考)	25,672,005	29,245,685	33,790,006	35,968,868	**36,141,613**	20.2	23.0	26.6	28.5	29.4

注) 2015年以降は不詳補完値により算出。

注) 2010年以前の割合は「不詳」を除いて算出。

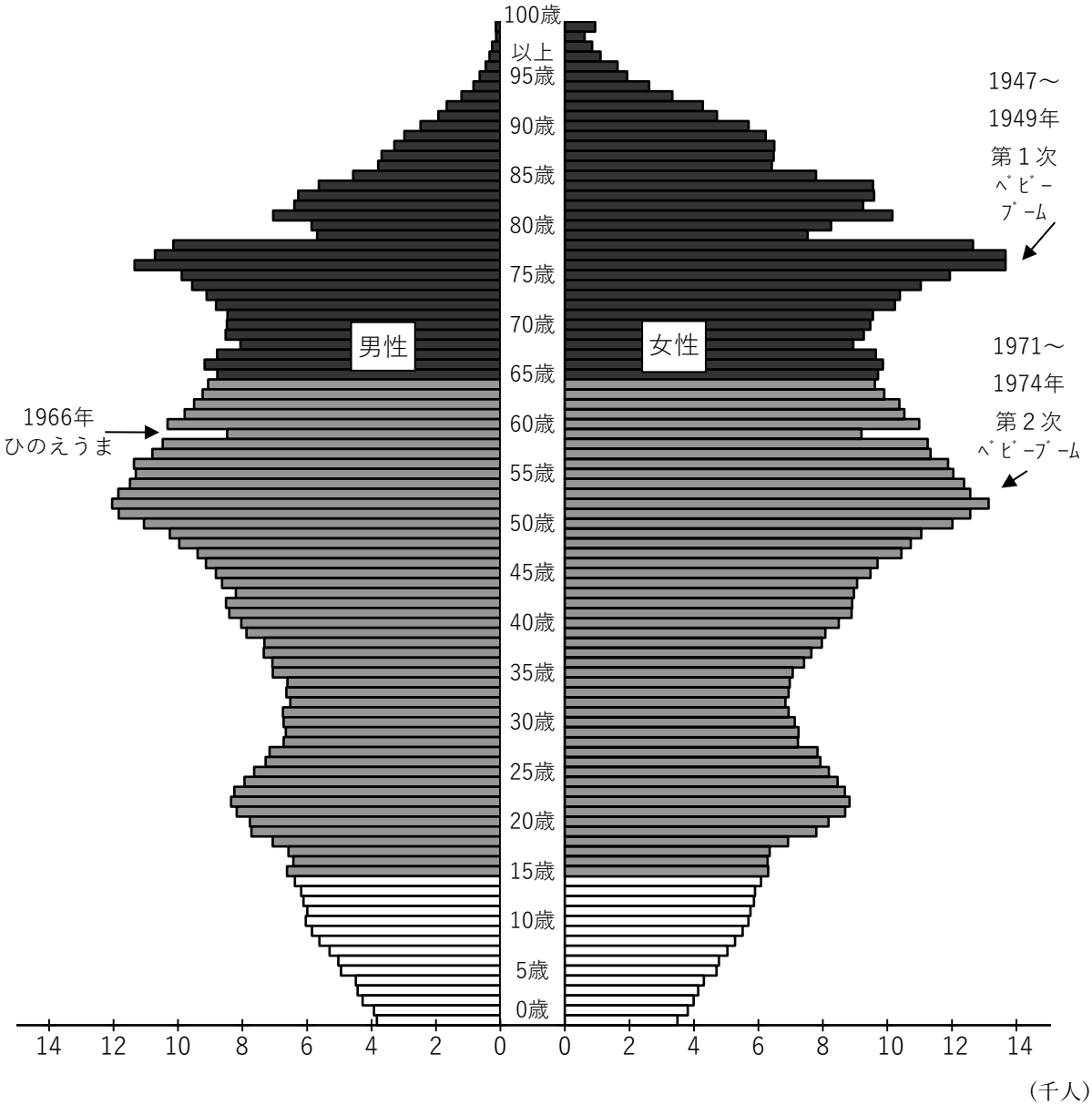
(2) 人口ピラミッド

２つの膨らみを持つ「ひょうたん型」の人口ピラミッド

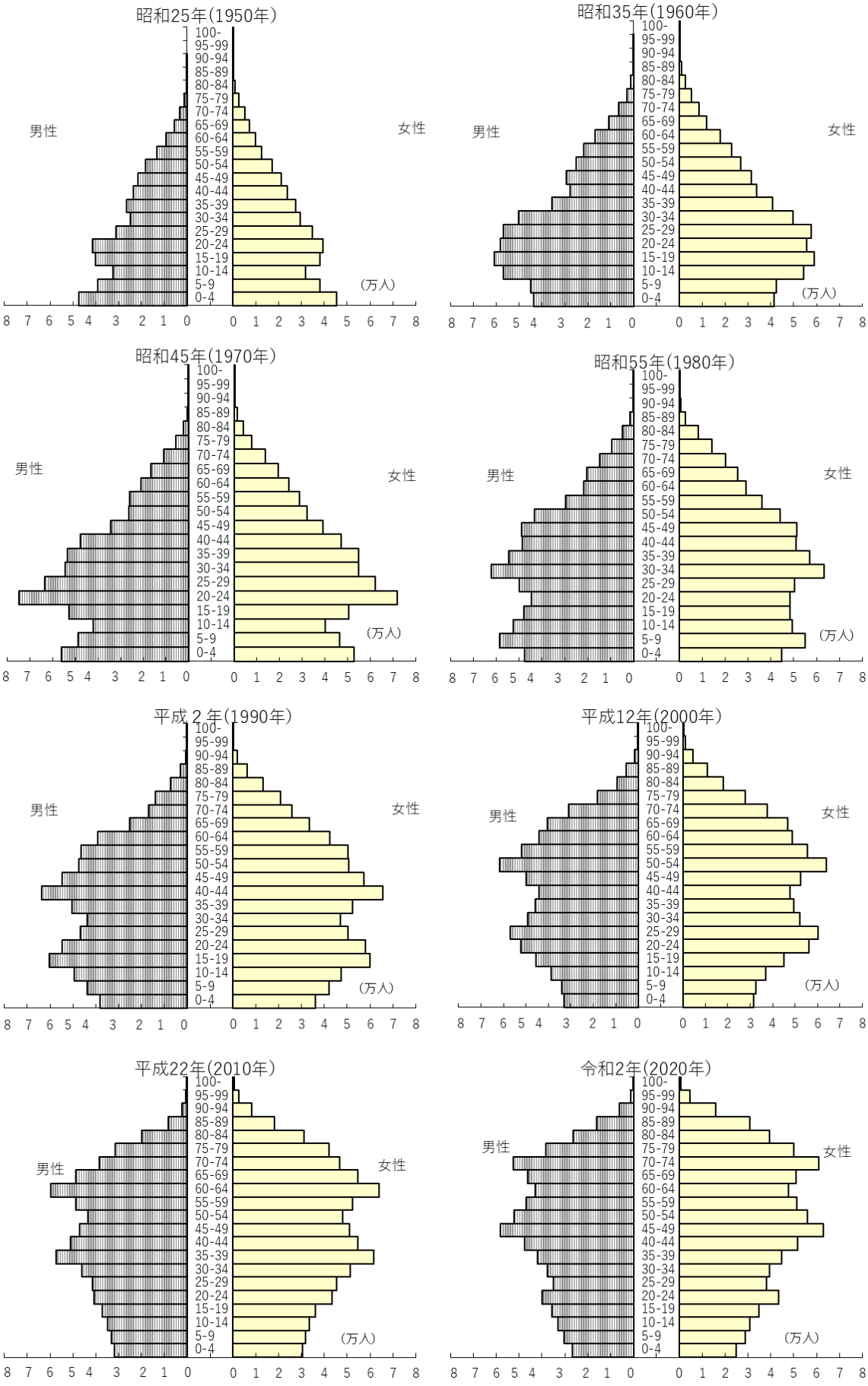
神戸市の人口を年齢５歳階級別にみると，人口が最も多いのは，第２次ベビーブーム期に誕生した50～54 歳の 120,963 人で，総人口の 8.1%を占めている。性別・各歳別にみると，女性の 76 歳が13,670 人で最も多く，男性は 52 歳の 12,040 人が最も多い。

1950 年以降について，人口ピラミッド（図Ⅰ-9 参照）の推移をみると，1950 年当時，年少者が多い「富士山型」であった人口ピラミッドは，出生数の減少により一時，若年層が少なく中高年層が多い「つぼ型」に近づきつつあったが，1970 年代前半の第２次ベビーブームによって出生数が増加したため，ピラミッドの裾が再び広がり，生産年齢人口が多い「星型」に近くなった。その後，出生数が低下して 15 歳未満人口は減少し，一方 65 歳以上人口は増加が続いているため，人口ピラミッドは２つの膨らみ（2025 年のピラミッドでは 75～79 歳と 50～54 歳）を持つ「ひょうたん型」に変化してきている。

図Ⅰ-8　年齢各歳別人口ピラミッド（2025 年 10 月１日現在）



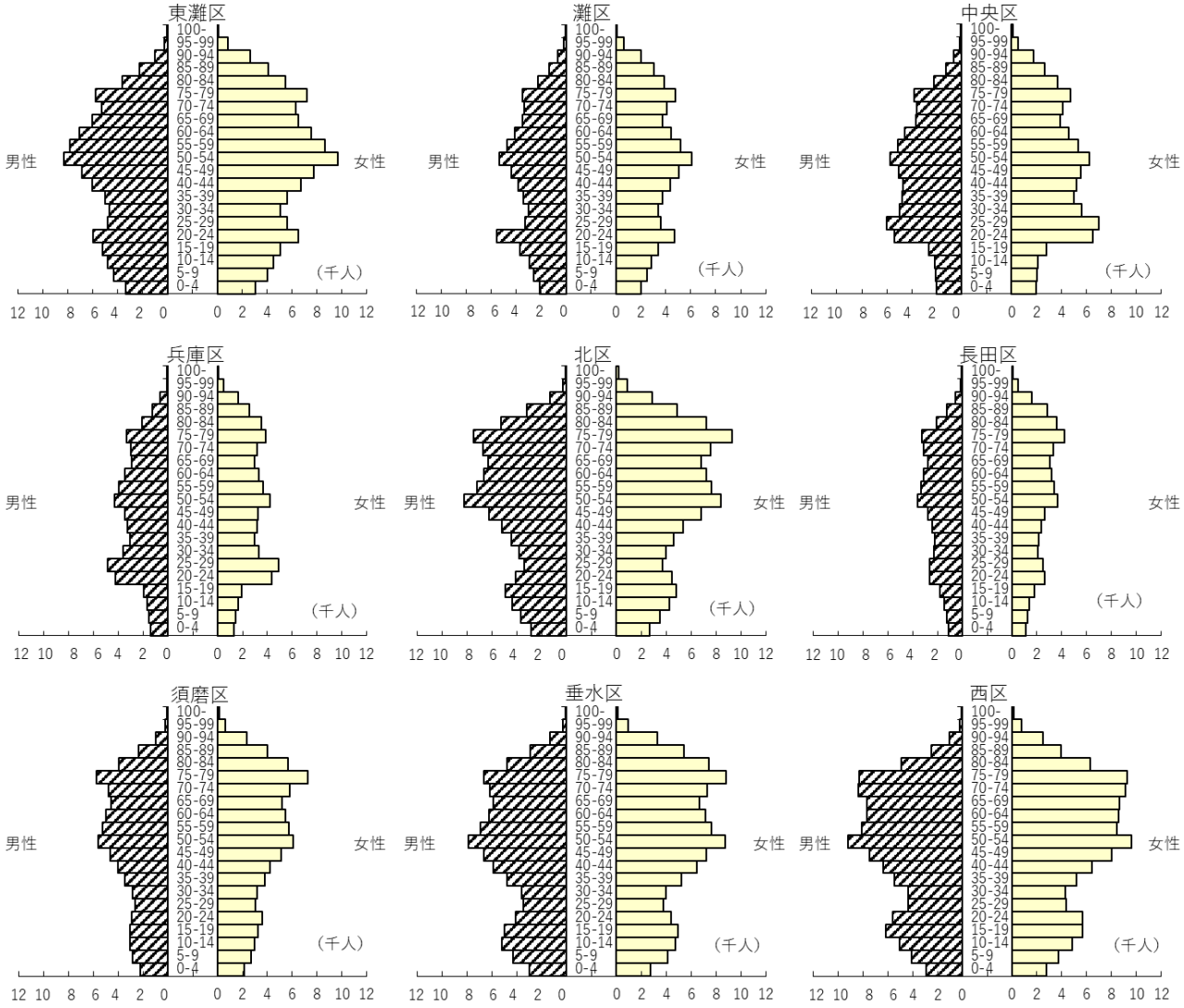
図Ⅰ-9　５歳階級別　人口ピラミッドの推移（1950 年～2020 年）



各区も「ひょうたん型」の特徴を持つ

人口ピラミッドを区別にみると，各区とも基本的には２つの膨らみをもつ「ひょうたん型」の特色を持つが，若年層の状況により「つぼ型」と「星型」の要素も加わっている。

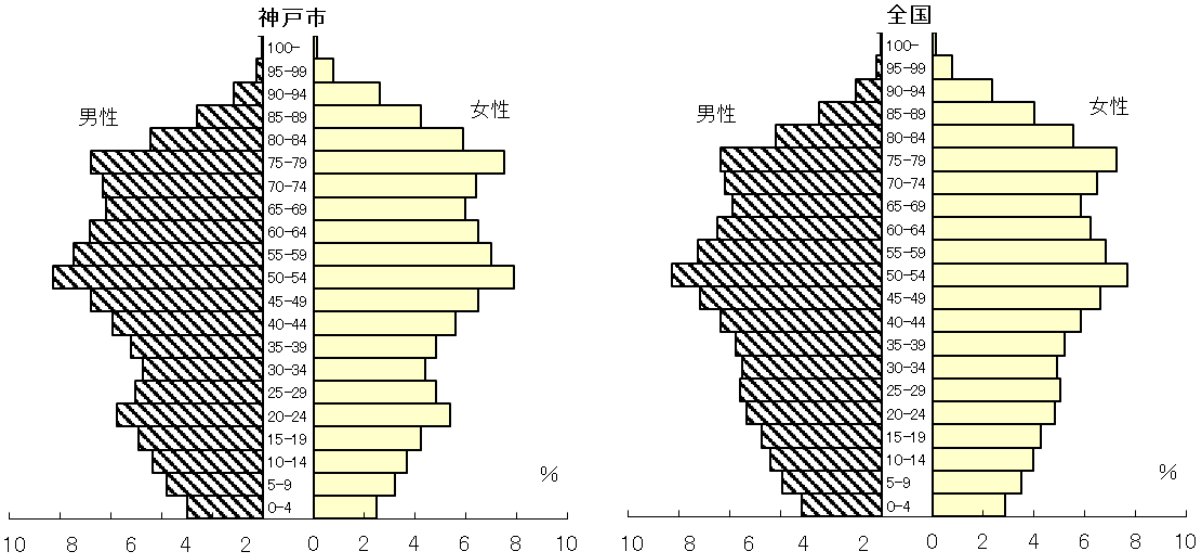
図Ⅰ-10　区別　５歳階級別　人口ピラミッド（2025 年）



全国とほぼ同形状

人口ピラミッドを全国のものと比較すると，ほぼ同形状となっていることが分かる。

図Ⅰ-11　５歳階級別　人口ピラミッド（2025 年，％表示）　－神戸市・全国　－



人口ピラミッド

男女の年齢別人口構造の特徴を視覚的に表すために描かれるのが人口ピラミッドである。人口ピラミッドの形態には以下のようなものがある。

◆基本形

・富 士 山 型：高出生率と高死亡率の組み合わせ，又は高出生率と緩慢に低下しつつある死亡率の組み合わせ

・つりがね型：低出生率と低死亡率の組み合わせ

・つ　ぼ　型：出生率が死亡率よりも低い，若年層の減少

◆人口移動の影響を受ける型（ベビーブームの影響を受けてこれらの型となる場合もある）

・星　型　（ 都 市 型 ）：若い15～64歳人口が多数流入・増加している場合

・ひょうたん型（過疎型）：若い15～64歳人口が多数流出・減少している場合

4　区別の人口

灘区，中央区，兵庫区で増加，他の６区で減少

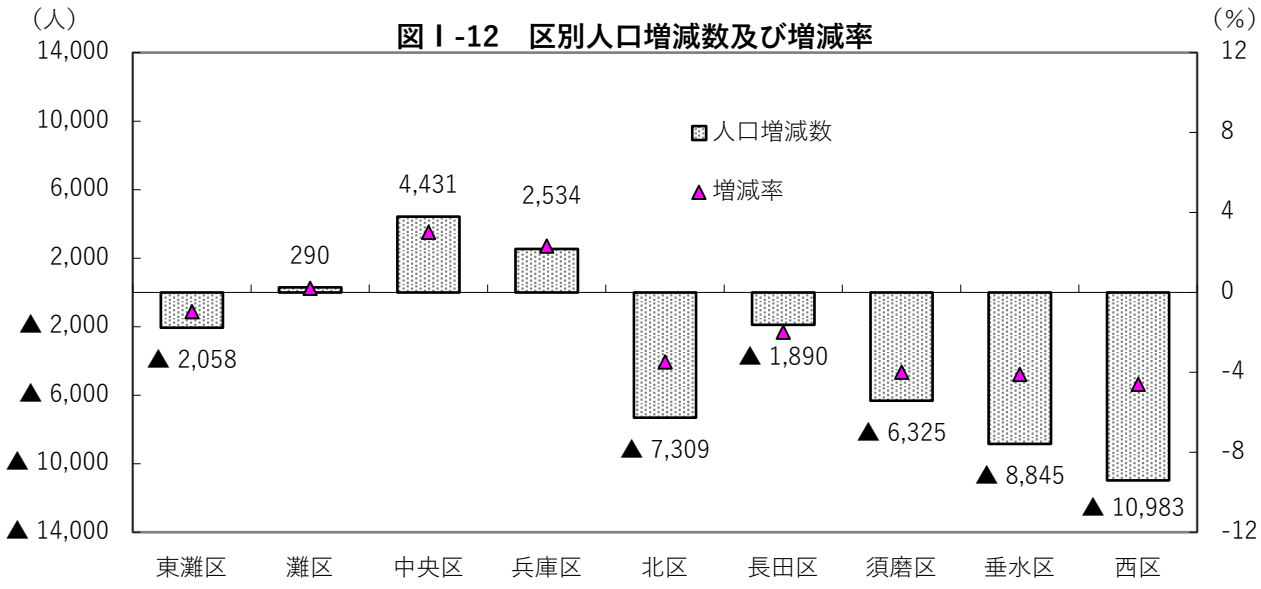
区別に人口をみると，人口が最も多いのは西区 227,894 人（総人口に占める割合 15.2%）で，次いで東灘区 211,504 人（同 14.1%），垂水区 206,457 人（同 13.8%）と続いている。

一方，人口が最も少ないのは長田区 92,901 人（同 6.2%）で，次いで兵庫区 111,678 人(同 7.5%)，灘区 137,037 人(同 9.2%)となっている。

前回調査からの５年間で最も人口が増加したのは中央区で 4,431 人増（対前回増減率 3.0%），次いで兵庫区 2,534 人増（同 2.3%）となっている。その他，灘区が増加しているが，この３区以外は減少しており，逆に最も減少したのは西区で，10,983 人減（同▲4.6%）となっている。

2005 年以降について推移をみると，中央区，灘区は人口の増加が続いている。兵庫区は，前回と今回の調査で増加している。一方，東灘区は前回調査から減少に転じており，北区，長田区，須磨区，垂水区，西区は減少傾向が続いている。

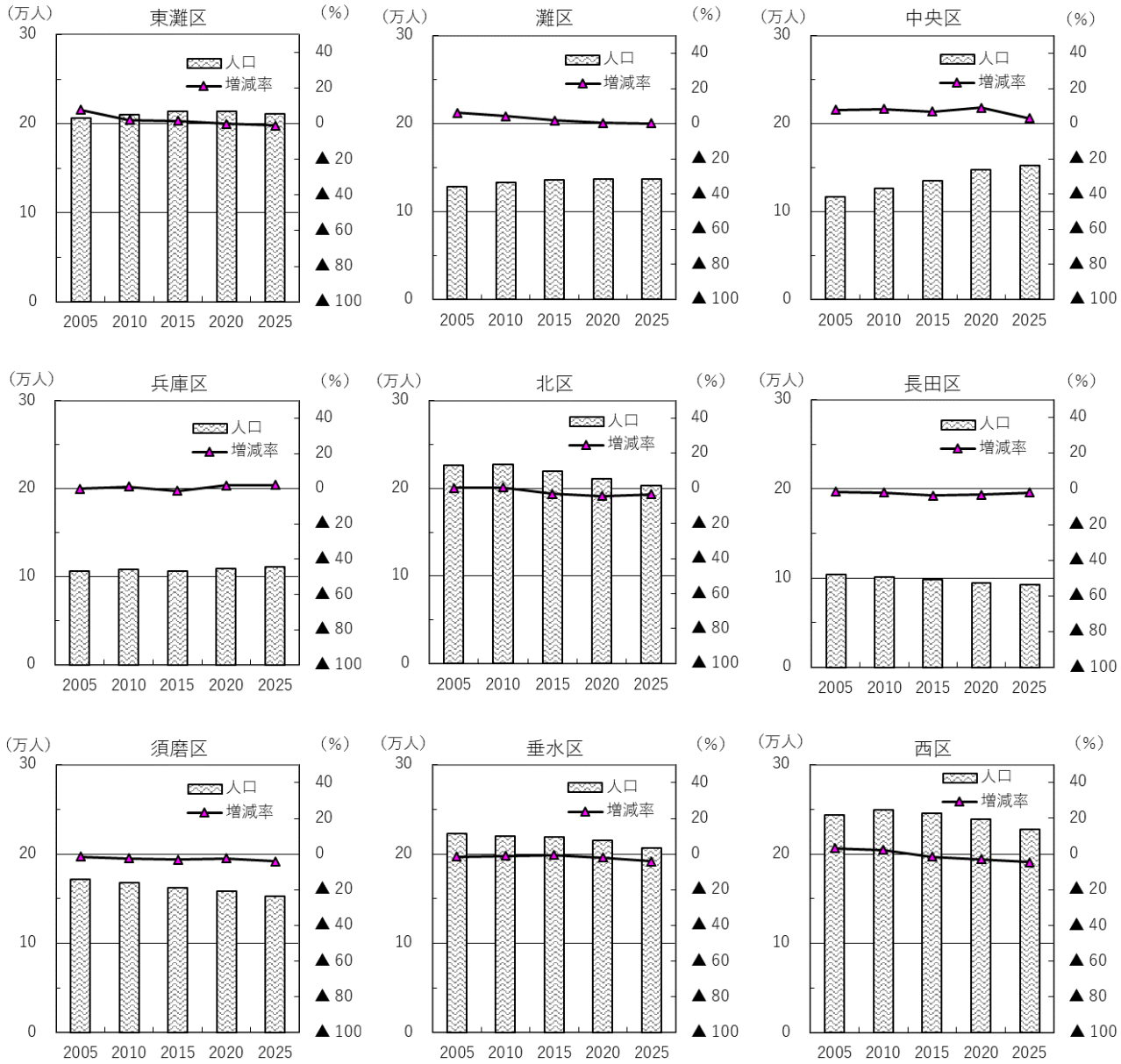
図Ⅰ-12　区別人口増減数及び増減率



表Ⅰ-8　区別　国勢調査に

区	人　口				
	2005年 （平成17年）	2010年 （平成22年）	2015年 （平成27年）	2020年 （令和2年）	**2025年 （令和7年）**
全　市	1,525,393	1,544,200	1,537,272	1,525,152	**1,494,997**
東灘区	206,037	210,408	213,634	213,562	**211,504**
灘　区	128,050	133,451	136,088	136,747	**137,037**
中央区	116,591	126,393	135,153	147,518	**151,949**
兵庫区	106,985	108,304	106,956	109,144	**111,678**
北　区	225,945	226,836	219,805	210,492	**203,183**
長田区	103,791	101,624	97,912	94,791	**92,901**
須磨区	171,628	167,475	162,468	158,719	**152,394**
垂水区	222,729	220,411	219,474	215,302	**206,457**
西　区	243,637	249,298	245,782	238,877	**227,894**

図Ⅰ-13　区別　人口及び人口増減率の推移



よる人口の推移

増減数				増減率（%）			
2005～2010年（平成17～22年）	2010～2015年（平成22～27年）	**2015～2020年（平成27～令和2年）**	**2020～2025年（令和2～令和7年）**	2000～2005年（平成12～17年）	2005～2010年（平成17～22年）	2010～2015年（平成22～27年）	**2015～2020年（平成27～令和2年）**
18,807	▲ 6,928	▲ 12,120	**▲ 30,155**	1.2	▲ 0.4	▲ 0.8	**▲ 2.0**
4,371	3,226	▲ 72	**▲ 2,058**	2.1	1.5	▲ 0.0	**▲ 1.0**
5,401	2,637	659	**290**	4.2	2.0	0.5	**0.2**
9,802	8,760	12,365	**4,431**	8.4	6.9	9.1	**3.0**
1,319	▲ 1,348	2,188	**2,534**	1.2	▲ 1.2	2.0	**2.3**
891	▲ 7,031	▲ 9,313	**▲ 7,309**	0.4	▲ 3.1	▲ 4.2	**▲ 3.5**
▲ 2,167	▲ 3,712	▲ 3,121	**▲ 1,890**	▲ 2.1	▲ 3.7	▲ 3.2	**▲ 2.0**
▲ 4,153	▲ 5,007	▲ 3,749	**▲ 6,325**	▲ 2.4	▲ 3.0	▲ 2.3	**▲ 4.0**
▲ 2,318	▲ 937	▲ 4,172	**▲ 8,845**	▲ 1.0	▲ 0.4	▲ 1.9	**▲ 4.1**
5,661	▲ 3,516	▲ 6,905	**▲ 10,983**	2.3	▲ 1.4	▲ 2.8	**▲ 4.6**

Ⅱ　配偶関係

未婚率は男性が高い

神戸市の 15 歳以上人口の配偶関係について，男女別にみると，男性は 15 歳以上人口 623,132 人のうち，未婚者 222,219 人（未婚率 35.7%），有配偶者 338,522 人（有配偶率 54.3%），死別者 26,156 人（死別率 4.2%），離別者 36,235 人（離別率 5.8%）となっている。また，女性は 15 歳以上人口 719,175 人のうち，未婚者 205,692 人（未婚率 28.6%），有配偶者 342,654 人（有配偶率 47.6%），死別者 110,582 人 （死別率 15.4%），離別者 60,246 人（離別率 8.4%）となっている。

未婚率は男性の方が女性より 7.1 ポイント高い。また，女性の死別率は男性の約 4 倍となっているが，これは女性の平均寿命が長いことによる。

全国値と比較すると，全国の未婚率は，男性 36.3%，女性 26.4%で，神戸市の男性は 0.7 ポイント下回り，女性は 2.2 ポイント上回っている。全国の有配偶率は，男性 55.2%，女性 51.6%で，それぞれ神戸市は 0.8 ポイント，3.9 ポイント下回っている。

未婚率が 20 年間で最も上昇したのは 55～59 歳男性

配偶関係別割合の推移には，配偶関係そのものの変化のほかに，調査時点での年齢構成の変化の影響も含まれていることに注意する必要があるが，前回調査と比較し，2005 年からの推移をみてみる。

有配偶率は，前回調査時に比べ，男性 2.1 ポイント，女性 1.9 ポイント低下した。2005 年以降について推移をみると，男女とも，有配偶率は低下を続けている。

未婚率を年齢別に見ると，前回調査と比べて男性では，25～29 歳を除いて未婚率が上昇しており，女性ではどの年齢も未婚率が上昇している。

2005 年から 2025 年までの 20 年間をみると，20 年間で最も未婚率が上昇したのは，男性の 55～59 歳で，10.6%から 25.5%へ 14.8 ポイント上昇した。

死別率，離別率は男女とも上昇を続けている。

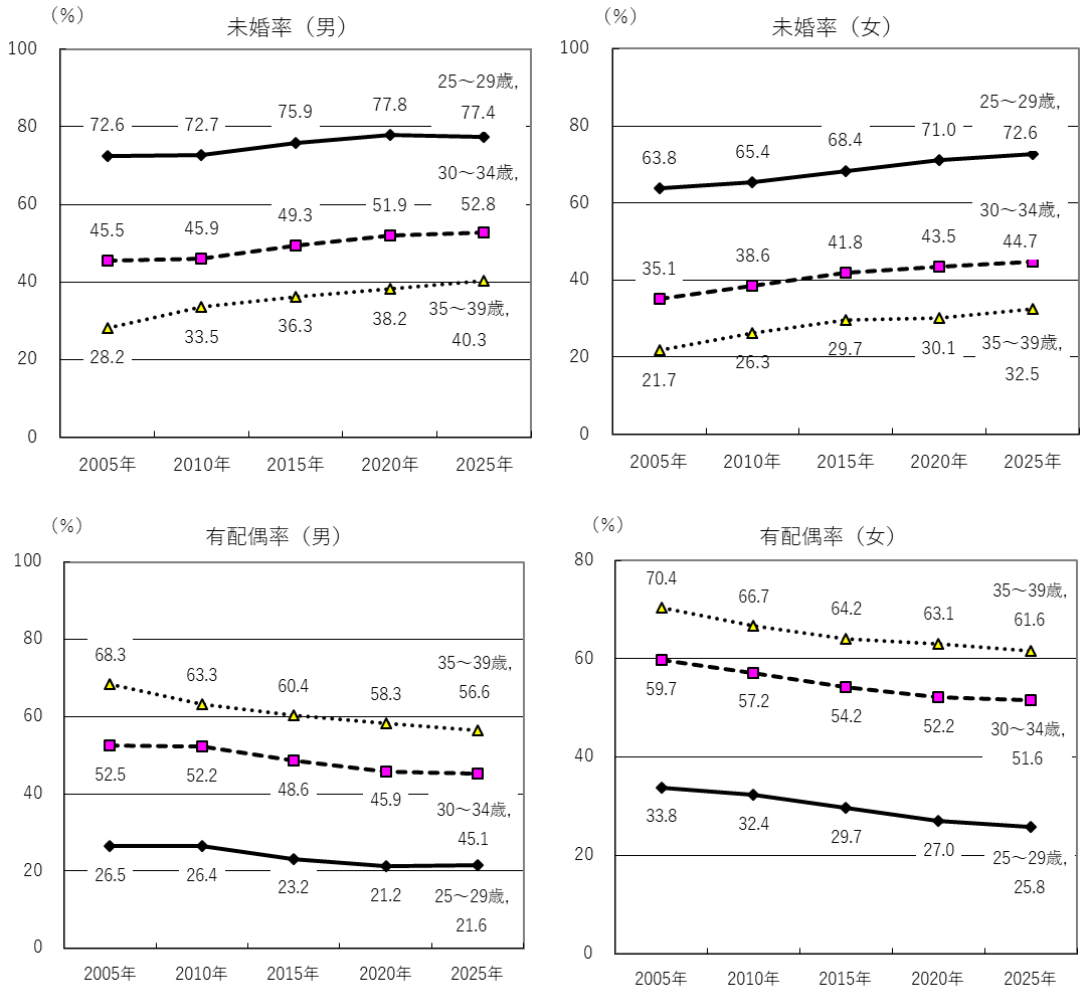
表Ⅱ-1　男女別，配偶関係別15歳以上人口の推移

年次	男					女				
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	総数	未婚	有配偶	死別	離別
	実数									
2005 年（平成 17 年）	619,602	193,164	371,878	17,789	21,356	701,341	183,281	376,082	90,245	40,945
2010 年（ 22 年）	623,126	192,502	369,737	19,288	24,981	712,051	183,504	373,337	92,909	45,653
2015 年（ 27 年）	631,670	209,406	369,252	21,586	31,426	719,704	193,757	371,935	101,727	52,285
2020 年（令和 2 年）	626,255	215,617	353,420	22,474	34,744	724,031	201,949	359,074	103,961	59,047
2025 年（ 7 年）	623,132	222,219	338,522	26,156	36,235	719,175	205,692	342,654	110,582	60,246
	割合（%）									
2005 年（平成 17 年）	100.0	32.0	61.6	2.9	3.5	100.0	26.5	54.5	13.1	5.9
2010 年（ 22 年）	100.0	31.7	61.0	3.2	4.1	100.0	26.4	53.7	13.4	6.6
2015 年（ 27 年）	100.0	33.2	58.5	3.4	5.0	100.0	26.9	51.7	14.1	7.3
2020 年（令和 2 年）	100.0	34.4	56.4	3.6	5.5	100.0	27.9	49.6	14.4	8.2
2025 年（ 7 年）	100.0	35.7	54.3	4.2	5.8	100.0	28.6	47.6	15.4	8.4
全国（参考）	100.0	36.3	55.2	3.5	5.0	100.0	26.4	51.6	14.4	7.6

注）総数には「不詳」を含み、内訳は「不詳」を除く。2015年以降は不詳補完値により算出（補完後も一部「不詳」が残る場合がある）。

注）割合は「不詳」を除いて算出。

図Ⅱ-1　男女別，年齢（５歳階級）別　未婚率及び有配偶率の推移



表Ⅱ-2　男女別，年齢（５歳階級）別未婚率及び有配偶率の推移

年齢(5歳階級)	男					女				
	2005年（平成17年）	2010年（平成22年）	2015年（平成27年）	2020年（令和2年）	**2025年（令和7年）**	2005年（平成17年）	2010年（平成22年）	2015年（平成27年）	2020年（令和2年）	**2025年（令和7年）**
	未　婚　率					未　婚　率				
15 ～ 19 歳	99.7	99.6	99.6	99.8	**99.8**	99.4	99.4	99.5	99.7	**99.8**
20 ～ 24	94.9	94.9	96.2	96.5	**97.1**	91.9	92.2	93.9	94.9	**96.0**
25 ～ 29	72.6	72.7	75.9	77.8	**77.4**	63.8	65.4	68.4	71.0	**72.6**
30 ～ 34	45.5	45.9	49.3	51.9	**52.8**	35.1	38.6	41.8	43.5	**44.7**
35 ～ 39	28.2	33.5	36.3	38.2	**40.3**	21.7	26.3	29.7	30.1	**32.5**
40 ～ 44	20.0	26.5	30.6	31.4	**33.1**	14.6	20.4	23.8	25.0	**25.7**
45 ～ 49	15.6	20.9	26.0	28.8	**28.9**	10.1	15.3	20.2	22.4	**23.1**
50 ～ 54	13.4	16.6	21.3	26.1	**27.6**	8.1	10.8	15.5	19.5	**21.2**
55 ～ 59	10.6	14.5	16.9	21.0	**25.5**	7.2	8.5	11.0	15.1	**19.1**
	有　配　偶　率					有　配　偶　率				
15 ～ 19 歳	0.3	0.4	0.3	0.2	**0.1**	0.6	0.6	0.4	0.3	**0.1**
20 ～ 24	4.8	4.8	3.6	3.3	**2.5**	7.4	7.0	5.5	4.6	**3.5**
25 ～ 29	26.5	26.4	23.2	21.2	**21.6**	33.8	32.4	29.7	27.0	**25.8**
30 ～ 34	52.5	52.2	48.6	45.9	**45.1**	59.7	57.2	54.2	52.2	**51.6**
35 ～ 39	68.3	63.3	60.4	58.3	**56.6**	70.4	66.7	64.2	63.1	**61.6**
40 ～ 44	75.3	68.6	64.3	63.5	**62.4**	75.4	69.6	66.9	65.9	**66.1**
45 ～ 49	78.8	72.7	67.1	64.3	**64.8**	79.1	72.6	67.3	65.4	**66.7**
50 ～ 54	79.6	76.2	70.1	65.0	**64.1**	79.4	75.8	69.6	64.7	**64.9**
55 ～ 59	81.4	76.8	73.5	68.0	**63.9**	77.4	76.1	72.4	66.8	**63.1**

注) 2015年以降は不詳補完値により算出。

注) 2010年以前の割合は「不詳」を除いて算出。

有配偶率が未婚率を上回るのは男性は 35～39 歳，女性は 30～34 歳以上の年齢階級

配偶関係別割合を年齢 5 歳階級別にみると，未婚率は，男女とも 25～29 歳から，40～44 歳にかけて急速に低下した後，年齢の上昇とともに緩やかに低下している。

有配偶率は未婚率とは対照的に，25～29 歳から 40～44 歳にかけて一気に上昇している。その後は，緩やかに上昇し，男性は 80～84 歳の 72.7%，女性は 45～49 歳の 66.7%でピークを迎えた後は年齢とともに低下している。このため，有配偶率が未婚率を上回るのは男性では 35～39 歳，女性では 30～34 歳以上の年齢階級となっている。

死別率は年齢が上昇するにつれ男女差が大きくなっている。男性は全ての年齢階級において死別率は有配偶率を下回っているが，女性は 75～79 歳で近づき，80～84 歳以上で死別率が有配偶率を上回っている。また，全ての年齢階級で女性が男性を上回っている。

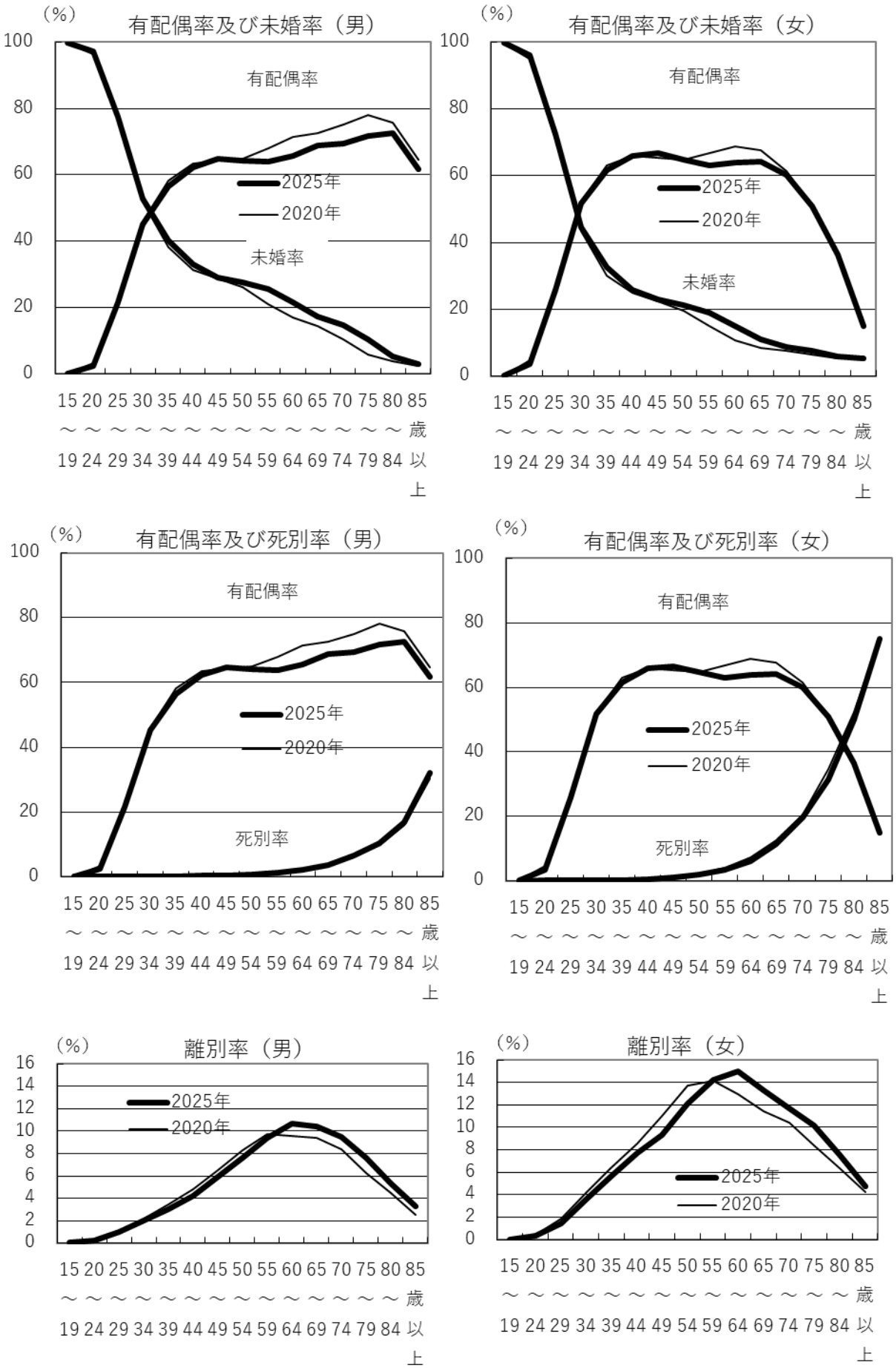
離別率についてみると，男性女性ともに 60～64 歳が最も高くなっており，全ての年齢階級で女性が男性を上回っている。

表Ⅱ-3　配偶関係（4 区分）別，年齢（5 歳階級）別，男女別　15歳以上人口

年齢（5歳階級）	男					女				
	総数	未婚	有配偶	死別	離別	総数	未婚	有配偶	死別	離別
	実数									
総数	623,132	222,219	338,522	26,156	36,235	719,175	205,692	342,654	110,582	60,246
15 ～ 19 歳	34,386	34,318	49	5	14	33,669	33,598	48	11	12
20 ～ 24	40,480	39,303	1,024	57	96	42,848	41,147	1,514	53	134
25 ～ 29	35,444	27,431	7,640	24	349	38,425	27,897	9,914	48	566
30 ～ 34	33,217	17,527	14,997	31	662	34,833	15,557	17,987	47	1,242
35 ～ 39	36,655	14,762	20,733	37	1,123	38,191	12,413	23,523	102	2,152
40 ～ 44	41,784	13,848	26,061	109	1,766	44,326	11,384	29,286	232	3,424
45 ～ 49	47,552	13,761	30,795	199	2,797	51,413	11,860	34,269	490	4,794
50 ～ 54	58,263	16,100	37,358	385	4,420	62,700	13,294	40,679	1,153	7,574
55 ～ 59	52,403	13,347	33,494	624	4,938	55,740	10,647	35,187	1,962	7,944
60 ～ 64	47,905	10,285	31,467	1,030	5,123	51,430	7,708	32,828	3,179	7,715
65 ～ 69	43,316	7,546	29,766	1,506	4,498	47,448	5,271	30,469	5,418	6,290
70 ～ 74	44,429	6,563	30,779	2,856	4,231	50,705	4,380	30,505	9,915	5,905
75 ～ 79	47,760	4,978	34,205	4,945	3,632	59,475	4,523	30,240	18,660	6,052
80 ～ 84	31,187	1,625	22,672	5,228	1,662	46,825	2,803	17,022	23,453	3,547
85 歳以上	28,351	825	17,482	9,120	924	61,147	3,210	9,183	45,859	2,895
	割合（%）									
総数	100.0	35.7	54.3	4.2	5.8	100.0	28.6	47.6	15.4	8.4
15 ～ 19 歳	100.0	99.8	0.1	0.0	0.0	100.0	99.8	0.1	0.0	0.0
20 ～ 24	100.0	97.1	2.5	0.1	0.2	100.0	96.0	3.5	0.1	0.3
25 ～ 29	100.0	77.4	21.6	0.1	1.0	100.0	72.6	25.8	0.1	1.5
30 ～ 34	100.0	52.8	45.1	0.1	2.0	100.0	44.7	51.6	0.1	3.6
35 ～ 39	100.0	40.3	56.6	0.1	3.1	100.0	32.5	61.6	0.3	5.6
40 ～ 44	100.0	33.1	62.4	0.3	4.2	100.0	25.7	66.1	0.5	7.7
45 ～ 49	100.0	28.9	64.8	0.4	5.9	100.0	23.1	66.7	1.0	9.3
50 ～ 54	100.0	27.6	64.1	0.7	7.6	100.0	21.2	64.9	1.8	12.1
55 ～ 59	100.0	25.5	63.9	1.2	9.4	100.0	19.1	63.1	3.5	14.3
60 ～ 64	100.0	21.5	65.7	2.2	10.7	100.0	15.0	63.8	6.2	15.0
65 ～ 69	100.0	17.4	68.7	3.5	10.4	100.0	11.1	64.2	11.4	13.3
70 ～ 74	100.0	14.8	69.3	6.4	9.5	100.0	8.6	60.2	19.6	11.6
75 ～ 79	100.0	10.4	71.6	10.4	7.6	100.0	7.6	50.8	31.4	10.2
80 ～ 84	100.0	5.2	72.7	16.8	5.3	100.0	6.0	36.4	50.1	7.6
85 歳以上	100.0	2.9	61.7	32.2	3.3	100.0	5.2	15.0	75.0	4.7

注）不詳補完値により算出。

図Ⅱ-2　男女別，年齢（5歳階級）別　未婚率，有配偶率，死別率及び離別率（2020，2025 年）



中央区の女性は未婚率が高い

神戸市の 15 歳以上人口の配偶関係を区別にみると，男性の未婚率は兵庫区が 47.8%で最も高く，中央区 45.5%，長田区 42.9%，灘区 39.5%が続き，この 4 区が神戸市の平均 35.7%を超えている。最も低いのは北区の 30.1%であった。

女性の未婚率は中央区が 42.7%で最も高く，中央区，兵庫区，灘区が 3 割を超えている。最も低いのは北区の 23.0%で，次いで垂水区 23.6%，西区 24.0%，須磨区 24.9%となっている。

有配偶率をみると，北区，須磨区，垂水区，西区といった市西部の区が男女ともに高く，東部では東灘区のみ男女ともに平均を超えている。兵庫区，長田区，中央区では男女ともに有配偶率が 5 割を下回る結果となった。

20-49 歳の 5 歳階級別の未婚率をみると，男性では中央区，兵庫区，長田区が 30 代以降で他区に比べて高くなっており，特に 40 代では兵庫区，長田区が全市の平均よりも 10 ポイント以上高い値となっている。

一方で女性の未婚率では，中央区が 25-49 歳までの間で最も高い結果となっている。特に 30 代，40 代においては全市の平均よりも 10 ポイント以上高い値となっており，中央区の未婚率の高さが際立っている。

表Ⅱ-4　区別，男女別，配偶関係別割合

区名	男				女			
	未婚	有配偶	死別	離別	未婚	有配偶	死別	離別
全市	35.7	54.3	4.2	5.8	28.6	47.6	15.4	8.4
東灘区	32.9	58.6	3.7	4.8	28.7	51.0	13.2	7.1
灘区	39.5	51.7	3.6	5.2	32.1	44.9	14.6	8.4
中央区	45.5	44.2	3.2	7.0	42.7	36.1	11.8	9.3
兵庫区	47.8	40.2	3.9	8.1	37.1	37.2	15.4	10.3
北区	30.1	60.0	4.6	5.3	23.0	53.4	16.5	7.1
長田区	42.9	44.0	4.8	8.2	29.7	38.9	19.8	11.6
須磨区	31.5	57.7	5.1	5.7	24.9	49.0	17.2	8.8
垂水区	30.8	59.1	4.7	5.4	23.6	50.2	17.4	8.7
西区	32.0	58.9	4.1	5.0	24.0	54.6	14.3	7.1

注）不詳補完値により算出。

表Ⅱ-5　区別，男女別，年齢（5 歳階級）別未婚率

区名	男						女					
	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
全市	97.1	77.4	52.8	40.3	33.1	28.9	96.0	72.6	44.7	32.5	25.7	23.1
東灘区	97.0	73.0	44.9	31.7	26.4	22.4	96.2	70.5	39.7	28.8	21.0	19.9
灘区	98.3	77.4	49.3	35.8	31.3	25.2	97.0	74.3	43.9	30.6	25.6	23.9
中央区	97.4	82.8	60.0	50.3	41.8	36.3	96.2	80.3	57.2	47.0	40.7	37.0
兵庫区	95.9	80.6	62.5	52.1	43.5	39.1	94.4	75.8	53.1	41.6	34.3	30.3
北区	97.2	74.0	49.0	37.1	30.1	26.0	95.8	68.2	38.6	27.8	21.3	18.8
長田区	95.2	78.0	60.2	50.9	44.6	41.8	93.6	68.4	45.1	40.0	32.1	28.5
須磨区	97.2	72.7	46.3	34.5	31.8	30.2	96.8	66.1	40.8	28.1	24.6	23.1
垂水区	96.6	74.2	47.0	32.7	26.3	25.2	95.9	68.7	37.5	25.3	19.2	19.3
西区	97.7	78.9	55.7	44.0	34.3	27.7	96.9	71.9	43.1	30.2	22.7	18.2

注）不詳補完値により算出。

Ⅲ　世帯

1　世帯総数

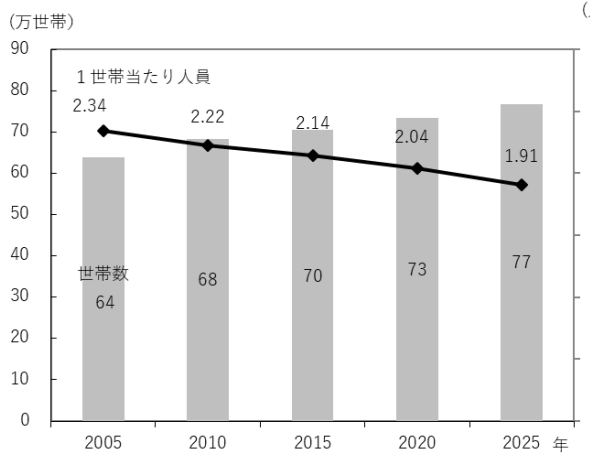
一般世帯数は 766,732 世帯（対前回比 32,641 世帯，4.4%増）－１世帯当たり 1.91 人－

2025 年 10 月 1 日現在の神戸市の世帯総数は 767,786 世帯で，前回調査に比べて，32,866 世帯，4.5%増加した。1 世帯当たりの世帯人員は 1.95 人で，前回調査の 2.08 人に比べ，0.13 人減少している。1 世帯当たり人員は，1960 年以来一貫して減り続けており，今回調査では過去最低の水準となっている。

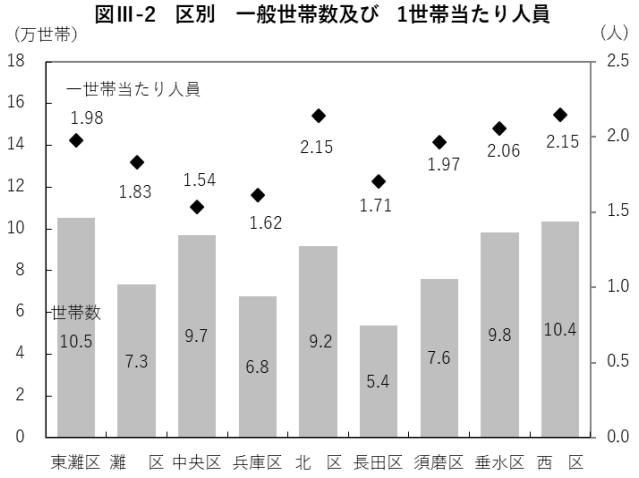
世帯の種類別にみると，施設等の世帯を除いた一般世帯数は 766,732 世帯で前回調査と比べ 32,641 世帯，4.4%増加した。施設等の世帯数は 1,054 世帯で，前回調査と比べ 225 世帯，27.1%増加した。

一般世帯の 1 世帯当たり人員は 1.91 人で，前回調査と比べて 0.13 人減少，２人を下回り，やはり過去最低となっている。区別に一般世帯数をみると，世帯数が最も多いのは東灘区で 105,388 世帯，次いで西区 103,501 世帯，垂水区 98,359 世帯となっている。一方，世帯数が最も少ないのは長田区で 53,577 世帯である。１世帯当たり人員は，最高の北区，西区でも 2.15 人と３人を下回っており，最も少ない中央区では 1.54 人，次いで兵庫区 1.62 人と２人を切っている。

図Ⅲ-1　一般世帯数及び1世帯当たり人員の推移



図Ⅲ-2　区別　一般世帯数及び　1世帯当たり人員



表Ⅲ-1　世帯の種類別　世帯数及び世帯人員の推移

年次 区	世帯総数			一般世帯			施設等の世帯		
	世帯数	世帯人員	1世帯当たり人員	世帯数	世帯人員	1世帯当たり人員	世帯数	世帯人員	1世帯当たり人員
2005 年（17 年）	643,351	1,525,393	2.37	639,480	1,497,364	2.34	1,159	23,187	20.01
2010 年（22 年）	684,183	1,544,200	2.26	683,310	1,518,716	2.22	873	25,484	29.19
2015 年（27 年）	705,459	1,537,272	2.18	704,497	1,508,891	2.14	962	28,381	29.50
2020 年（令和 2 年）	734,920	1,525,152	2.08	734,091	1,495,103	2.04	829	30,049	36.25
2025 年（7 年）	**767,786**	**1,494,997**	**1.95**	**766,732**	**1,464,249**	**1.91**	**1,054**	**30,748**	**29.17**
東灘区	105,497	211,504	2.00	105,388	208,439	1.98	109	3,065	28.12
灘区	73,328	137,037	1.87	73,231	134,350	1.83	97	2,687	27.70
中央区	97,236	151,949	1.56	97,148	149,375	1.54	88	2,574	29.25
兵庫区	67,730	111,678	1.65	67,623	109,283	1.62	107	2,395	22.38
北区	91,906	203,183	2.21	91,697	196,694	2.15	209	6,489	31.05
長田区	53,655	92,901	1.73	53,577	91,507	1.71	78	1,394	17.87
須磨区	76,298	152,394	2.00	76,208	149,973	1.97	90	2,421	26.90
垂水区	98,516	206,457	2.10	98,359	202,306	2.06	157	4,151	26.44
西区	103,620	227,894	2.20	103,501	222,322	2.15	119	5,572	46.82

注）2005年まで「総数」には世帯の種類「不詳」を含む。

2　施設等の世帯

社会施設の入所者数が増加を続ける

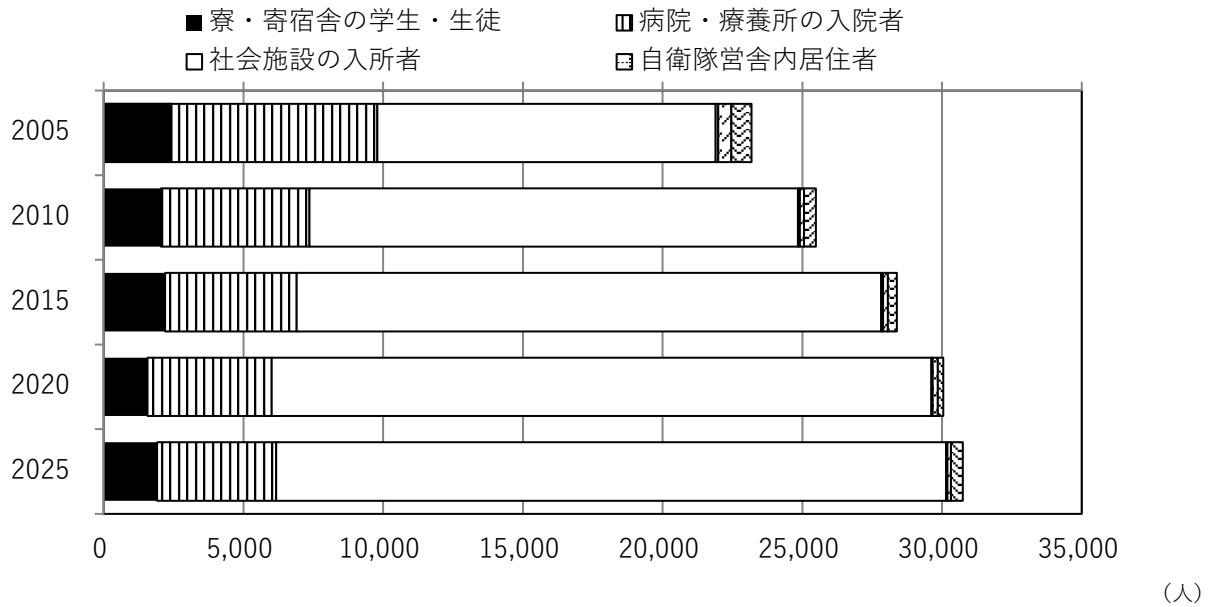
施設等の世帯について種類別に世帯人員数をみると，「社会施設の入所者」が 23,970 人で最も多く，次いで「病院・療養所の入院者」4,260 人，「寮・寄宿舎の学生・生徒」1,916 人となっている。

2005 年以降の推移をみると，世帯人員数は増加を続けている。特に「社会施設の入所者」が大幅に増えており，施設等の世帯人員総数に占める割合が 78.0%と大半を占めている。一方で他の施設に関しては，人員数は減少傾向にある。

表Ⅲ-2　施設等の世帯の種類別世帯数，世帯人員及び世帯人員割合の推移

世帯人員	総数	寮・寄宿舎の学生・生徒	病院・療養所の入院者	社会施設の入所者	自衛隊営舎内居住者	矯正施設の入所者	その他
				世帯数			
2005年 (平成12年)	1,159	78	144	293	4	4	636
2010年 (22年)	873	47	116	401	6	3	300
2015年 (27年)	962	59	118	507	3	1	274
2020年 (令和 2年)	829	38	94	586	1	3	107
2025年 (7年)	**1,054**	**37**	**90**	**548**	**1**	**3**	**375**
				世帯人員数			
2005年 (平成12年)	23,187	2,423	7,369	12,108	95	463	729
2010年 (22年)	25,484	2,056	5,310	17,484	68	140	426
2015年 (27年)	28,381	2,196	4,707	20,925	65	175	313
2020年 (令和 2年)	30,049	1,572	4,436	23,616	47	181	197
2025年 (7年)	**30,748**	**1,916**	**4,260**	**23,970**	**43**	**136**	**423**
				世帯人員総数に占める割合（%）			
2005年 (平成12年)	100.0	10.4	31.8	52.2	0.4	2.0	3.1
2010年 (22年)	100.0	8.1	20.8	68.6	0.3	0.5	1.7
2015年 (27年)	100.0	7.7	16.6	73.7	0.2	0.6	1.1
2020年 (令和 2年)	100.0	5.2	14.8	78.6	0.2	0.6	0.7
2025年 (7年)	**100.0**	**6.2**	**13.9**	**78.0**	**0.1**	**0.4**	**1.4**

図Ⅲ-3 施設等の世帯の種類別世帯人員の推移



3　世帯人員

1人世帯は大幅に増加し，全体の 48.9%

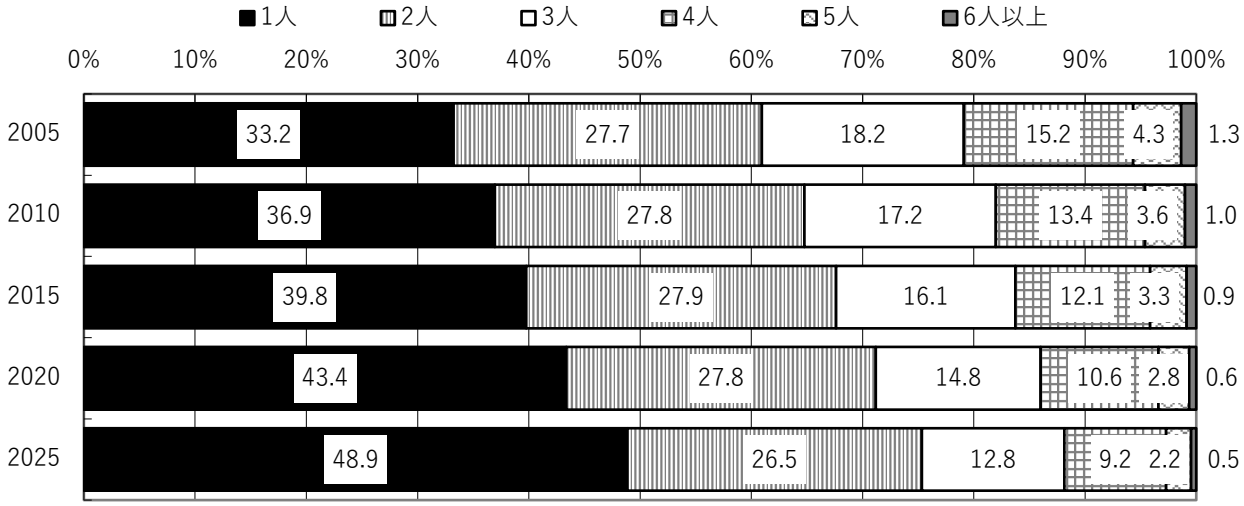
一般世帯の世帯数を世帯人員別にみると，1人世帯が 374,664 世帯（一般世帯総数に占める割合 48.9%）で最も多く，次いで2人世帯 202,855 世帯（同 26.5%），3人世帯 98,212 世帯（同 12.8%），4人世帯 70,341 世帯（同 9.2%）と，世帯人員が増加するほど，世帯数は少なくなっている。

前回調査と比べると，世帯人員が1人世帯は増加率 17.7%と大幅に増加している。一方で，2人世帯は今回調査から減少に転じ，3人以上の世帯は前回調査同様，全て減少している。

2005 年以降について一般世帯数に占める世帯人員別割合の推移をみると，1人世帯の占める割合は調査ごとに上昇しており，この 20 年間で1人世帯は 15.6 ポイント上昇した。2025 年は1人世帯のみで一般世帯の約半数を占めている。

一方，2～6人以上の世帯の割合は縮小傾向にあり，2005 年の 66.8%から 2025 年の 51.1%と，15.6 ポイント低下している。世帯の小規模化が進んでいることがわかる。

図Ⅲ-4　一般世帯の世帯人員割合の推移



表Ⅲ-3　世帯人員別　一般世帯数及び割合の推移

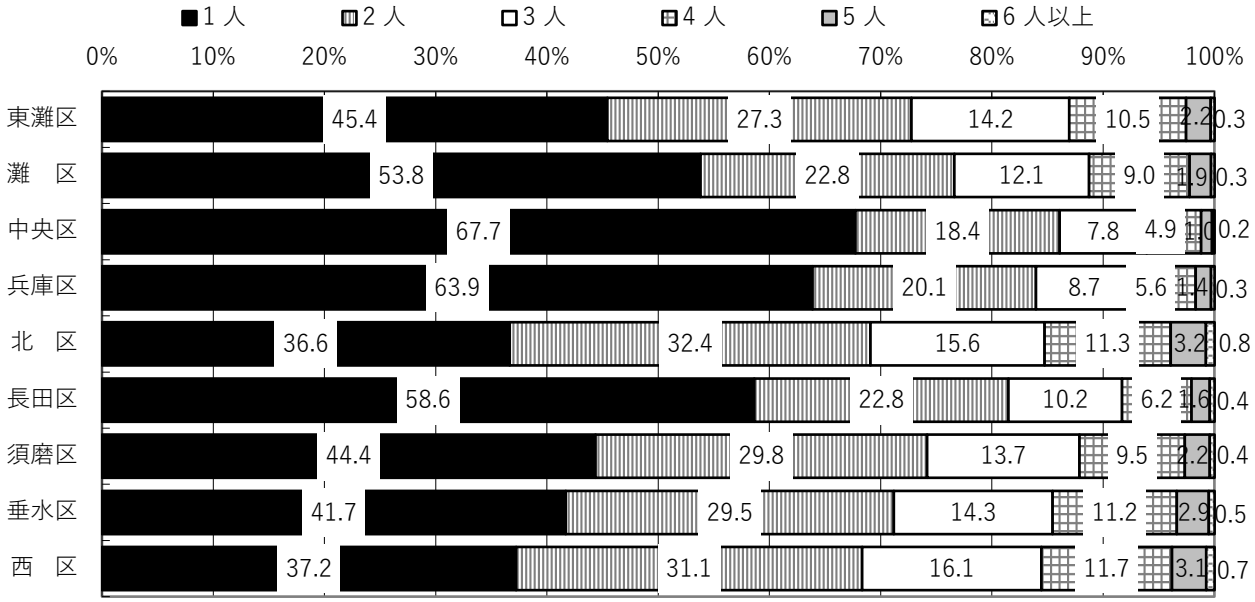
年　次	総　数	世帯人員					
		1　人	2　人	3　人	4　人	5　人	6人以上
	実　数						
2005 年（　17 年）	639,480	212,585	177,215	116,070	97,254	27,760	8,596
2010 年（　22 年）	683,310	252,415	190,200	117,508	91,674	24,560	6,953
2015 年（　27 年）	704,497	280,073	196,344	113,517	85,267	23,181	6,115
2020 年（令和　2 年）	734,091	318,372	204,183	108,795	77,736	20,381	4,624
2025 年（　7 年）	**766,732**	**374,664**	**202,855**	**98,212**	**70,341**	**17,158**	**3,502**
	割　合　（%）						
2005 年（　17 年）	100.0	33.2	27.7	18.2	15.2	4.3	1.3
2010 年（　22 年）	100.0	36.9	27.8	17.2	13.4	3.6	1.0
2015 年（　27 年）	100.0	39.8	27.9	16.1	12.1	3.3	0.9
2020 年（令和　2 年）	100.0	43.4	27.8	14.8	10.6	2.8	0.6
2025 年（　7 年）	**100.0**	**48.9**	**26.5**	**12.8**	**9.2**	**2.2**	**0.5**

全区で１～２人世帯の割合が過半数を占める

世帯人員別割合を区別にみると，全区で，１～２人世帯が過半数を占めている。中央区では１人世帯だけで 67.7%，次いで兵庫区では 63.9%と半数を超えている。

いずれの区も，世帯人員が多くなるにつれ，割合が低くなっている。北区，西区では他区と比べて３人以上の世帯の割合が高い。

図Ⅲ-5　区別　一般世帯の世帯人員割合



表Ⅲ-4　区別 世帯人員別一般世帯数及び割合

区	総　数	世　帯　人　員					
		1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人以上
				実　数			
全　市	**766,732**	**374,664**	**202,855**	**98,212**	**70,341**	**17,158**	**3,502**
東灘区	105,388	47,891	28,803	14,952	11,063	2,321	358
灘　区	73,231	39,404	16,709	8,867	6,610	1,410	231
中央区	97,148	65,794	17,844	7,584	4,754	973	199
兵庫区	67,623	43,199	13,585	5,874	3,818	933	214
北　区	91,697	33,606	29,743	14,339	10,399	2,903	707
長田区	53,577	31,417	12,240	5,474	3,347	876	223
須磨区	76,208	33,815	22,723	10,426	7,205	1,713	326
垂水区	98,359	41,019	29,004	14,028	10,985	2,830	493
西　区	103,501	38,519	32,204	16,668	12,160	3,199	751
				割　合　（%）			
全　市	**100.0**	**48.9**	**26.5**	**12.8**	**9.2**	**2.2**	**0.5**
東灘区	100.0	45.4	27.3	14.2	10.5	2.2	0.3
灘　区	100.0	53.8	22.8	12.1	9.0	1.9	0.3
中央区	100.0	67.7	18.4	7.8	4.9	1.0	0.2
兵庫区	100.0	63.9	20.1	8.7	5.6	1.4	0.3
北　区	100.0	36.6	32.4	15.6	11.3	3.2	0.8
長田区	100.0	58.6	22.8	10.2	6.2	1.6	0.4
須磨区	100.0	44.4	29.8	13.7	9.5	2.2	0.4
垂水区	100.0	41.7	29.5	14.3	11.2	2.9	0.5
西　区	100.0	37.2	31.1	16.1	11.7	3.1	0.7

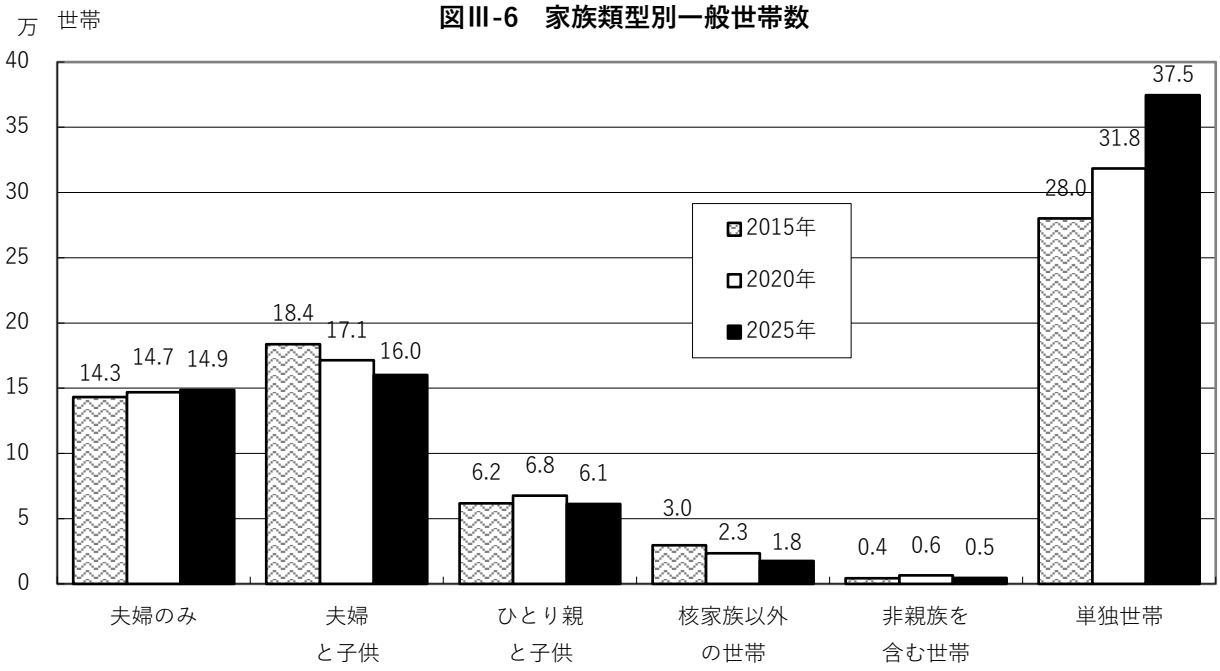
4　世帯の家族類型

一般世帯に占める核家族世帯の割合は 48.2%

一般世帯を家族類型別にみると，「親族のみの世帯」は 387,445 世帯（一般世帯総数に占める割合 50.5%），「非親族を含む世帯」は 4,623 世帯（同 0.6%），単独世帯は 374,664 世帯（同 48.9%）となっている。前回調査と比べると，単独世帯は 56,292 世帯（増減率 17.7%）増加している。

「親族のみの世帯」のうち，核家族世帯は 369,898 世帯（一般世帯数に占める割合 48.2%）であった。核家族世帯のうち，「夫婦のみの世帯」は 148,543 世帯（同 19.4%），「夫婦と子供から成る世帯」は 160,139 世帯（同 20.9%），「ひとり親と子供から成る世帯」は 61,216 世帯（同 8.0%）となっている。

図Ⅲ-6　家族類型別一般世帯数



表Ⅲ-5　家族類型別　一般世帯数

家族類型	2015年（平成27年）	2020年（令和2年）	2025年 令和7年 実数	2025年 令和7年 割合	2020～2025年 令和2～7年 増減数	2020～2025年 令和2～7年 増減率
総数	704,497	734,091	**766,732**	100.0	32,641	4.4
親族のみの世帯	418,334	409,232	**387,445**	50.5	▲ 21,787	▲ 5.3
核家族世帯	388,794	385,826	**369,898**	48.2	▲ 15,928	▲ 4.1
夫婦のみ	143,290	146,882	**148,543**	19.4	1,661	1.1
夫婦と子供	183,704	171,379	**160,139**	20.9	▲ 11,240	▲ 6.6
ひとり親と子供	61,800	67,565	**61,216**	8.0	▲ 6,349	▲ 9.4
男親と子供	7,945	8,632	**7,912**	1.0	▲ 720	▲ 8.3
女親と子供	53,855	58,933	**53,304**	7.0	▲ 5,629	▲ 9.6
核家族以外の世帯	29,540	23,406	**17,547**	2.3	▲ 5,859	▲ 25.0
非親族を含む世帯	4,381	6,487	**4,623**	0.6	▲ 1,864	▲ 28.7
単独世帯	280,073	318,372	**374,664**	48.9	56,292	17.7

注）不詳補完値により算出。

増加が続く単独世帯

2005 年以降について家族類型別の推移をみると，単独世帯（一人暮らし世帯）の増加が目立つ。

単独世帯は，2005 年の 212,585 世帯から 374,664 世帯へと 20 年間で約 1.8 倍に増加し，割合も 15.6 ポイント上昇し 48.9%を占めている。2005 年以降は「夫婦と子供から成る世帯」を上回って最も多い家族類型となっている。

核家族世帯は，2015 年以降は減少に転じた。核家族世帯のうち「夫婦のみ世帯」の世帯は実数は増加しているが，割合は低下している。「夫婦と子供から成る世帯」については減少傾向にあり，割合も 2005 年には 30.8%であったが，2025 年には 20.9%と 9.9 ポイント低下した。

表Ⅲ-6　家族類型別　一般世帯数の推移

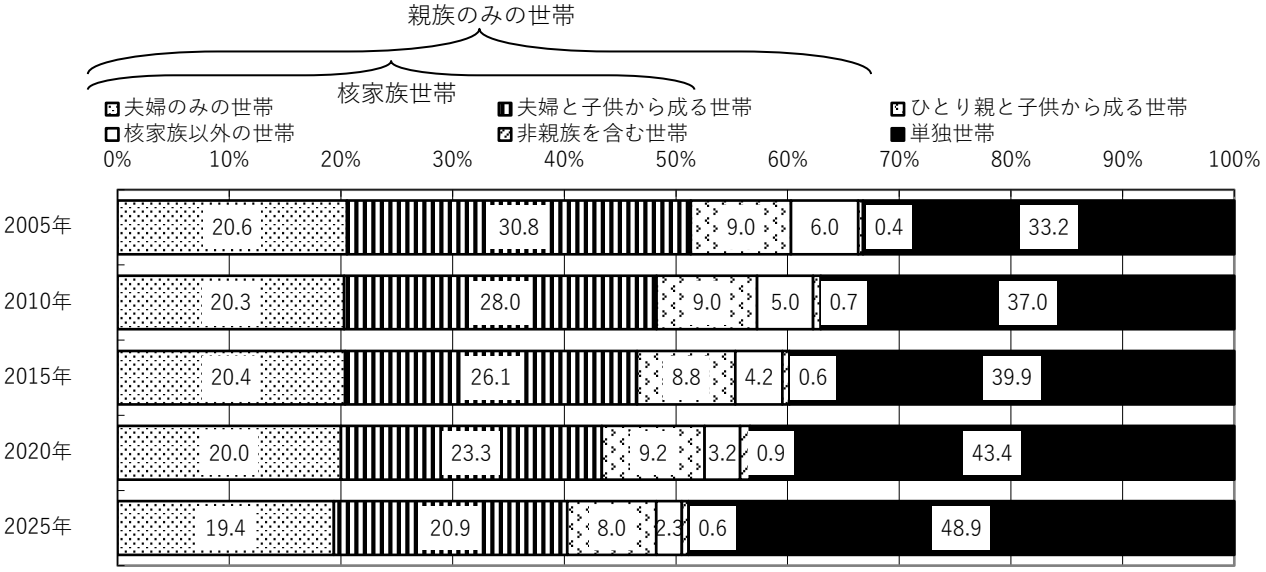
年次	総数	親族のみの世帯 a)	核家族世帯 a)	夫婦のみ a)	夫婦と子供 a)	ひとり親と子供 a)	核家族以外の世帯 a)	非親族を含む世帯 b)	単独世帯
	実数								
2005 年　平成 17 年	639,480	424,171	385,594	131,462	196,856	57,276	38,577	2,724	212,585
2010 年　22 年	683,310	424,595	390,473	138,385	190,698	61,390	34,122	4,706	252,415
2015 年　27 年	704,497	418,334	388,794	143,290	183,704	61,800	29,540	4,381	280,073
2020 年　令和 2 年	734,091	409,232	385,826	146,882	171,379	67,565	23,406	6,487	318,372
2025 年　7 年	**766,732**	**387,445**	**369,898**	**148,543**	**160,139**	**61,216**	**17,547**	**4,623**	**374,664**
	割合（%）								
2005 年　平成 17 年	100.0	66.3	60.3	20.6	30.8	9.0	6.0	0.4	33.2
2010 年　22 年	100.0	62.3	57.3	20.3	28.0	9.0	5.0	0.7	37.0
2015 年　27 年	100.0	59.5	55.3	20.4	26.1	8.8	4.2	0.6	39.9
2020 年　令和 2 年	100.0	55.7	52.6	20.0	23.3	9.2	3.2	0.9	43.4
2025 年　7 年	**100.0**	**50.5**	**48.2**	**19.4**	**20.9**	**8.0**	**2.3**	**0.6**	**48.9**
（参考）									
全国	100.0	**57.5**	52.3	20.2	23.3	8.8	5.2	1.1	41.4

注）総数（実数）には世帯の家族類型「不詳」を含む。内訳と構成比は、2020年以降は不詳補完値により算出、2015年は不詳を除いて算出。

a）2005年以前は，世帯に同居する非親族（住み込みのための従業員，家事手伝いなど）がいる場合も含む。

b）2005年以前は，二人以上の世帯員から成る世帯のうち，世帯主と親族関係にある者がいない世帯をいう。

図Ⅲ-7　家族類型別一般世帯総数に占める割合の推移



北区・西区で高い「夫婦と子供から成る世帯」の割合

区別の家族類型別割合の違いを特徴づけているのは，「夫婦と子供から成る世帯」と，単独世帯の比率である。北区，西区では，他区と比較して，単独世帯の割合が低く，「夫婦と子供から成る世帯」の割合が高くなっている。また，３世代世帯を含む核家族以外の世帯の割合も，他区と比べて高い。

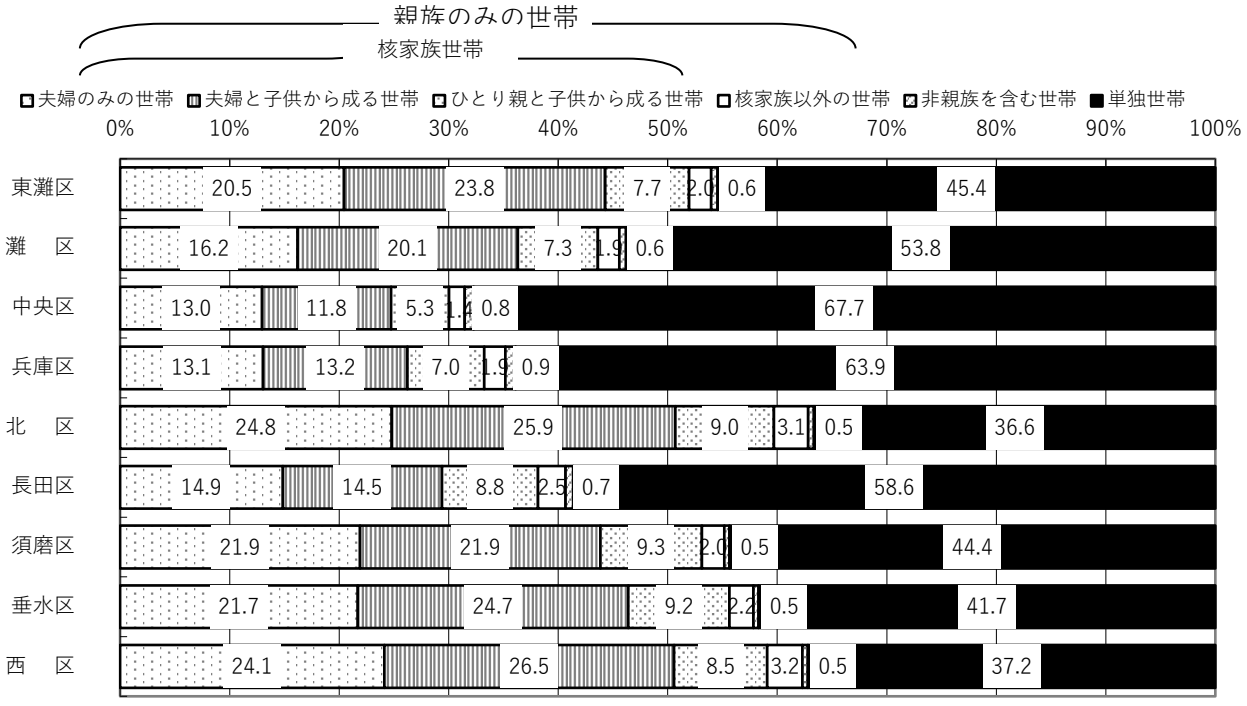
一方，「夫婦と子供から成る世帯」の割合の低い中央区，兵庫区では，単独世帯がそれぞれ 67.7%，63.9%と過半数を超えている。

表Ⅲ-7　区別　家族類型別一般世帯数

区	総数	親族のみの世帯	核家族世帯	夫婦のみ	夫婦と子供	ひとり親と子供	核家族以外の世帯	非親族を含む世帯	単独世帯
	実数								
東灘区	105,388	56,892	54,747	21,562	25,120	8,065	2,145	605	47,891
灘区	73,231	33,369	31,943	11,862	14,728	5,353	1,426	458	39,404
中央区	97,148	30,578	29,188	12,590	11,439	5,159	1,390	776	65,794
兵庫区	67,623	23,789	22,474	8,833	8,904	4,737	1,315	635	43,199
北区	91,697	57,621	54,744	22,729	23,755	8,260	2,877	470	33,606
長田区	53,577	21,795	20,443	7,958	7,794	4,691	1,352	365	31,417
須磨区	76,208	42,041	40,479	16,701	16,712	7,066	1,562	352	33,815
垂水区	98,359	56,889	54,719	21,337	24,307	9,075	2,170	451	41,019
西区	103,501	64,471	61,161	24,971	27,380	8,810	3,310	511	38,519
	割合（%）								
東灘区	100.0	54.0	51.9	20.5	23.8	7.7	2.0	0.6	45.4
灘区	100.0	45.6	43.6	16.2	20.1	7.3	1.9	0.6	53.8
中央区	100.0	31.5	30.0	13.0	11.8	5.3	1.4	0.8	67.7
兵庫区	100.0	35.2	33.2	13.1	13.2	7.0	1.9	0.9	63.9
北区	100.0	62.8	59.7	24.8	25.9	9.0	3.1	0.5	36.6
長田区	100.0	40.7	38.2	14.9	14.5	8.8	2.5	0.7	58.6
須磨区	100.0	55.2	53.1	21.9	21.9	9.3	2.0	0.5	44.4
垂水区	100.0	57.8	55.6	21.7	24.7	9.2	2.2	0.5	41.7
西区	100.0	62.3	59.1	24.1	26.5	8.5	3.2	0.5	37.2

注）内訳と構成比は不詳補完値により算出。

図Ⅲ-8　区別，家族類型別一般世帯総数に占める割合



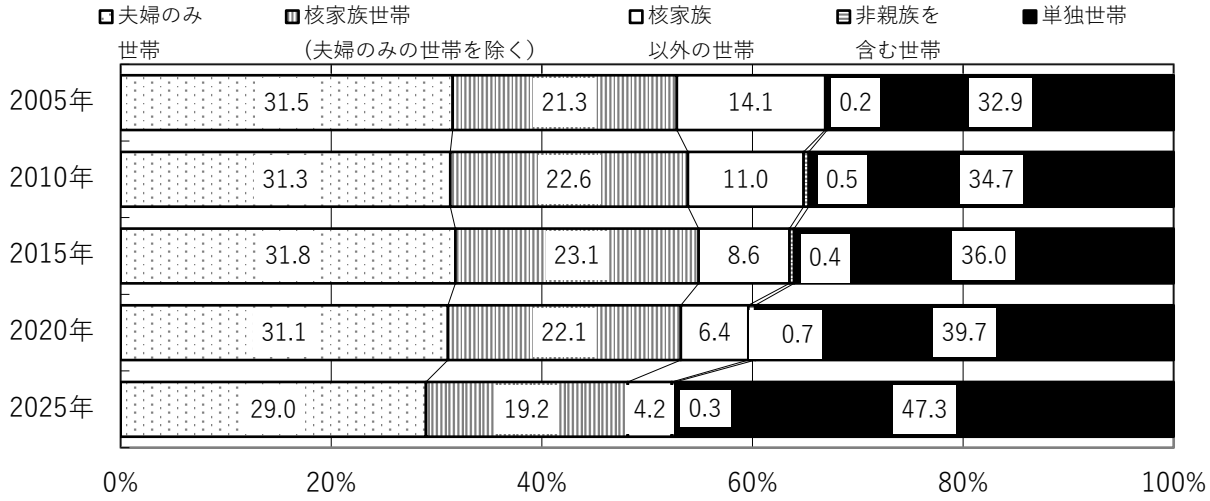
5　65 歳以上世帯員がいる世帯のようす

65 歳以上世帯員がいる世帯は一般世帯全体の 41.8%

神戸市の一般世帯 766,732 世帯のうち，65 歳以上世帯員がいる一般世帯は 320,565 世帯で，前回調査と比べ, 23,374 世帯増加した。一般世帯のうち 65 歳以上世帯員がいる世帯の占める割合は, 2005 年には 33.3%であったが 2025 年は 41.8%となっており，20 年間で 8.5 ポイント上昇している。このうち，単独世帯は 151,734 世帯（65 歳以上世帯員がいる世帯の総数に占める割合 47.3%）で，前回調査と比べ割合は 7.6 ポイント，核家族世帯は 154,394 世帯（同 48.2%）で割合は 5.0 ポイント低下している。一方，3 世代世帯を含む核家族以外の世帯は 13,398 世帯（同 4.2%）で割合は 2.2 ポイント低下している。

単独世帯の割合は全国(同 34.7%)よりも 12.7 ポイント高く，それ以外の世帯の割合は全国より低い。このことより全国よりも 65 歳以上世帯員がいる世帯の小規模化が進んでいることがわかる。

図Ⅲ-9　家族類型別65歳以上世帯員がいる一般世帯数の割合の推移



表Ⅲ－8　家族類型別　65歳以上世帯員がいる一般世帯数の推移

年　　次	総 数	親族のみの世帯	核家族世 帯	うち夫婦のみの世帯	うち左記以外の核家族世帯	核家族以外の世帯	非親族を含む世帯	単独世帯
	実　数							
2005 年 (平成　17 年)	213,087	142,577	112,549	67,186	45,363	30,028	400	70,110
2010 年 (　　22 年)	242,963	157,576	130,886	76,052	54,834	26,690	1,194	84,193
2015 年 (　　27 年)	277,339	176,159	152,226	88,164	64,062	23,933	1,218	99,962
2020 年 (令和　2 年)	297,191	177,141	158,104	92,364	65,740	19,037	1,945	118,105
2025 年 (　　7 年)	**320,565**	**167,792**	**154,394**	**92,943**	**61,451**	**13,398**	**1,039**	**151,734**
	割　合　(%)							
2005 年 (平成　17 年)	100.0	66.9	52.8	31.5	21.3	14.1	0.2	32.9
2010 年 (　　22 年)	100.0	64.9	53.9	31.3	22.6	11.0	0.5	34.7
2015 年 (　　27 年)	100.0	63.5	54.9	31.8	23.1	8.6	0.4	36.0
2020 年 (令和　2 年)	100.0	59.6	53.2	31.1	22.1	6.4	0.7	39.7
2025 年 (　　7 年)	**100.0**	**52.3**	**48.2**	**29.0**	**19.2**	**4.2**	**0.3**	**47.3**
（参考）全　国	100.0	64.8	54.0	29.7	24.3	10.7	0.6	34.7

a)2005年以前は，世帯に同居する非親族(住み込みのための従業員，家事手伝いなど）がいる場合も含む。
b)2005年以前は，二人以上の世帯員から成る世帯のうち，世帯主と親族関係にある者がいない世帯をいう。

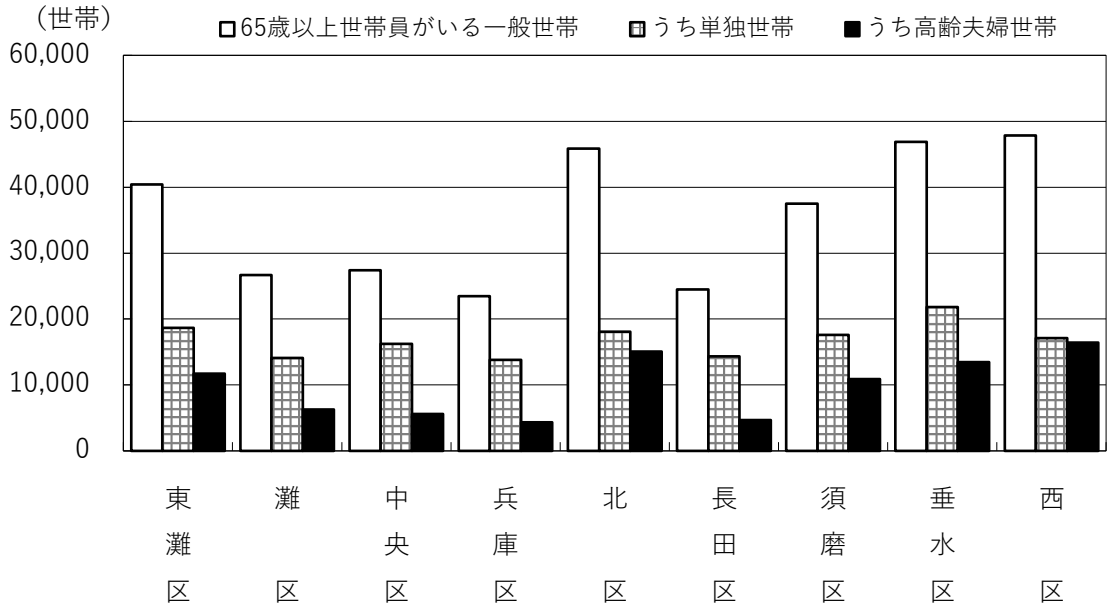
65 歳以上世帯員がいる世帯の割合は北区が最も高い

65 歳以上世帯員がいる一般世帯が一般世帯総数に占める割合を区別にみると，最も高い北区が 50.0%，次いで須磨区が 49.2%，垂水区 47.7%，西区 46.2%と続いている。

65 歳以上の単独世帯が一般世帯総数に占める割合は，長田区の 26.8%が最も高く，須磨区 23.1%，垂水区 22.2%と続いている。また，65 歳以上世帯員がいる一般世帯の総数に占める割合をみると，中央区が 59.2%と最も高い。次いで兵庫区 58.7%，長田区 58.5%となっている。中央区は一般世帯総数に占める 65 歳以上世帯員がいる一般世帯の割合は全市で一番低いが，65 歳以上世帯員がいる一般世帯のうち単独世帯の割合は高い。

高齢夫婦世帯（夫 65 歳以上，妻 60 歳以上の夫婦）が一般世帯総数に占める割合は，北区が 16.4 %で最も高く，次いで西区が 15.9%，須磨区が 14.3%と続いている。65 歳以上世帯員がいる一般世帯の総数に占める割合は西区が 34.4 %で最も高く，次いで北区 32.9%，須磨区，東灘区 29.0%と続いている。

図Ⅲ－10　区別　65歳以上世帯員がいる一般世帯数



表Ⅲ－9　区別　65歳以上世帯員がいる一般世帯数

年次，区名	65歳以上世帯員がいる一般世帯					一般世帯総数に占める割合(%)			（参考）
		うち単独世帯		うち高齢夫婦世帯		65歳以上世帯員がいる一般世帯	うち単独世帯	うち高齢夫婦世帯	一般世帯総数
		実数	構成比(%)	実数	構成比(%)				
2025　年	**320,565**	**151,734**	**47.3**	**88,466**	**27.6**	**41.8**	**19.8**	**11.5**	**766,732**
東灘区	40,438	18,686	46.2	11,723	29.0	38.4	17.7	11.1	105,388
灘区	26,652	14,091	52.9	6,269	23.5	36.4	19.2	8.6	73,231
中央区	27,410	16,222	59.2	5,615	20.5	28.2	16.7	5.8	97,148
兵庫区	23,486	13,784	58.7	4,344	18.5	34.7	20.4	6.4	67,623
北区	45,840	18,100	39.5	15,065	32.9	50.0	19.7	16.4	91,697
長田区	24,496	14,340	58.5	4,661	19.0	45.7	26.8	8.7	53,577
須磨区	37,524	17,604	46.9	10,872	29.0	49.2	23.1	14.3	76,208
垂水区	46,896	21,800	46.5	13,467	28.7	47.7	22.2	13.7	98,359
西区	47,823	17,107	35.8	16,450	34.4	46.2	16.5	15.9	103,501
(参考)全国	23,518,263	8,152,593	34.7	6,666,174	28.3	41.1	14.3	11.7	57,181,619

6　65 歳以上世帯員の単独世帯（一人暮らし 65 歳以上人口）

一人暮らし 65 歳以上人口が 65 歳以上人口に占める割合は 32.9%

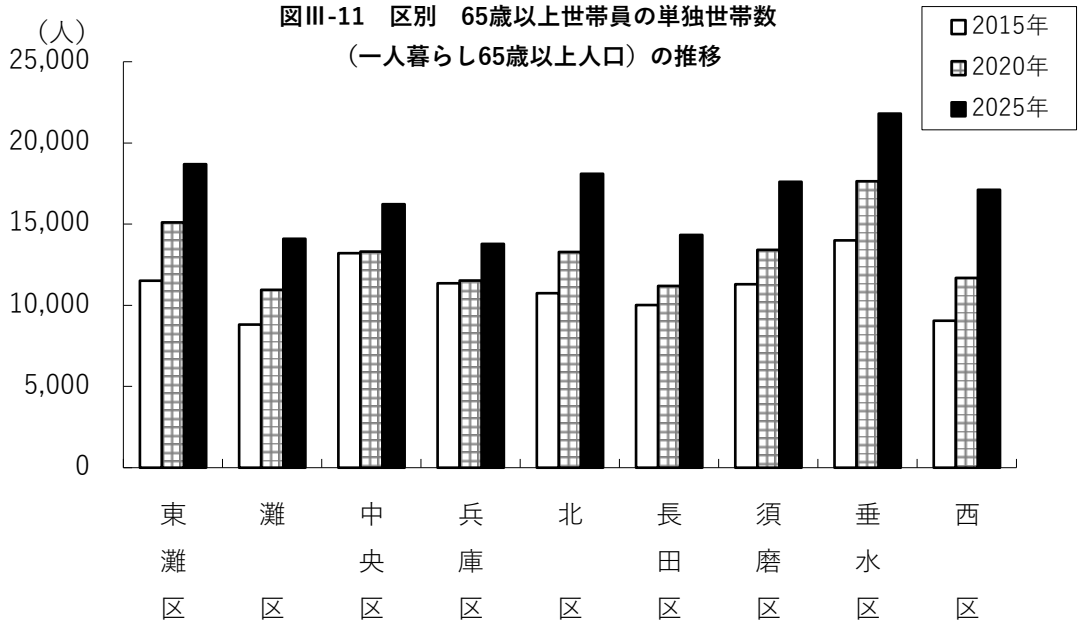
一人暮らし 65 歳以上人口が 65 歳以上人口に占める割合をみると，総数 460,643 人に対し 151,734 人と 32.9%を占めている。全国値と比較すると，全国の割合は 22.7%となっており，神戸市は 10.3 ポイント上回っている。

男女別にみると，男性 52,621 人，女性 99,113 人で女性が男性の 1.9 倍となっている。65 歳以上人口総数に占める割合でみると，男性の 27.0%に対し女性は 37.3%となっている。

区別にみると，前回調査と比べ，全ての区で増加している。一人暮らし 65 歳以上人口が最も多いのは垂水区で 21,800 人となっている。最も少ないのは兵庫区で 13,784 人である。

65 歳以上人口総数に占める割合が最も高いのは長田区で 44.4%，次いで中央区 44.3%となっている。最も低いのは西区で 23.2%となっている。

図Ⅲ-11　区別　65歳以上世帯員の単独世帯数（一人暮らし65歳以上人口）の推移



表Ⅲ－10　区別　65歳以上世帯員の単独世帯数（一人暮らし65歳以上人口）

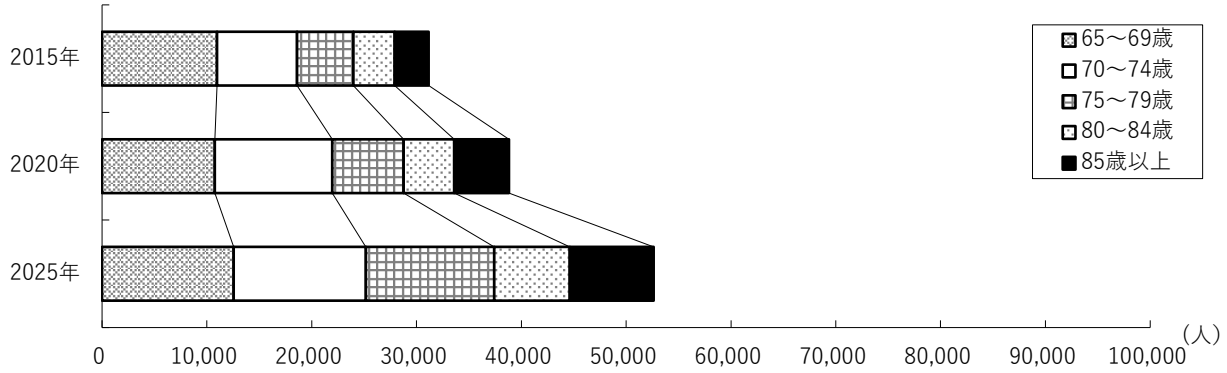
区　名	2015年（平成 27年）総数	2020年（令和2年）総数	2025年（令和7年）総数	2025年（令和7年）男	2025年（令和7年）女	65歳以上人口に占める割合(%) 総数	65歳以上人口に占める割合(%) 男	65歳以上人口に占める割合(%) 女	（参考）2025年(令和7年) 65歳以上人口
全　市	99,962	118,105	**151,734**	52,621	99,113	**32.9**	27.0	37.3	460,643
東灘区	11,504	15,106	**18,686**	6,171	12,515	**32.5**	25.5	37.7	57,438
灘区	8,809	10,952	**14,091**	4,574	9,517	**38.0**	30.9	42.8	37,046
中央区	13,201	13,307	**16,222**	5,930	10,292	**44.3**	39.0	48.0	36,642
兵庫区	11,363	11,525	**13,784**	5,554	8,230	**43.9**	41.9	45.3	31,433
北区	10,736	13,283	**18,100**	6,338	11,762	**25.7**	20.7	29.6	70,428
長田区	10,020	11,193	**14,340**	5,144	9,196	**44.4**	39.0	48.2	32,265
須磨区	11,289	13,414	**17,604**	5,938	11,666	**32.9**	26.3	37.7	53,535
垂水区	13,999	17,638	**21,800**	6,915	14,885	**32.0**	24.6	37.1	68,208
西区	9,041	11,687	**17,107**	6,057	11,050	**23.2**	18.4	27.2	73,648
（参考）全国	5,927,686	7,205,292	8,152,593	2,981,117	5,171,476	22.7	19.1	25.4	35,968,868

女性の 75 歳以上では３割以上が一人暮らし

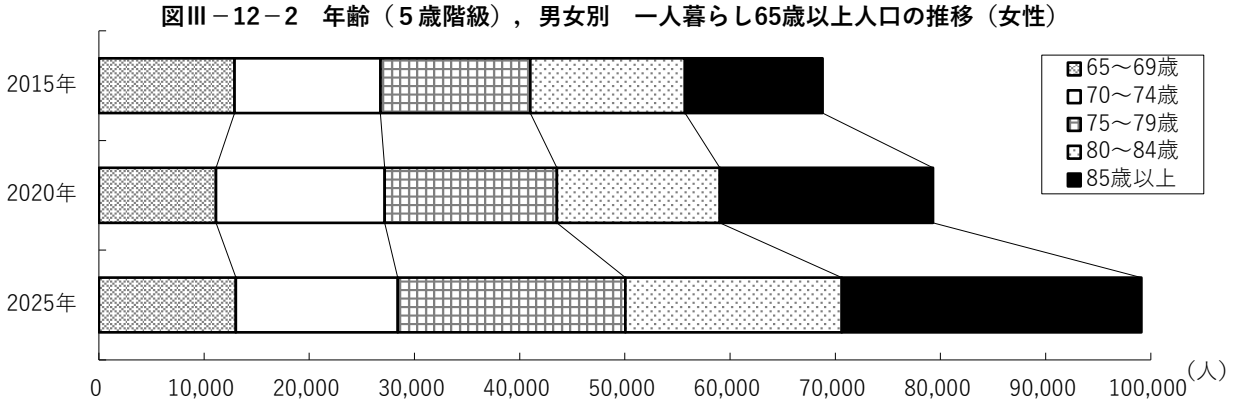
一人暮らし 65 歳以上人口を年齢５歳階級別にみると，男性は 70～74 歳の 12,602 人，女性は 85 歳以上の 28,478 人が最も多い。

一人暮らし 65 歳以上人口が各年齢人口総数に占める割合は，女性の 70 歳以上では３割を超えている。

図Ⅲ－12－1　年齢（５歳階級），男女別　一人暮らし65歳以上人口の推移(男性)



図Ⅲ－12－2　年齢（５歳階級），男女別　一人暮らし65歳以上人口の推移（女性）



表Ⅲ－11　年齢（5歳階級），男女別　一人暮らし65歳以上人口

年　齢（５歳階級）	一人暮らし65歳以上人口			増　減　率		各年齢人口に占める割合		
	2015年（平成27年）	2020年（令和2年）	**2025年（令和7年）**	2015～2020年（平成27～令和2年）	**2020～2025年（令和2～7年）**	2015年（平成27年）	2020年（令和2年）	**2025年（令和7年）**
総　数	99,962	118,105	**151,734**	18.1	**28.5**	24.3	26.8	**32.9**
65 ～ 69 歳	23,847	21,901	**25,588**	▲ 8.2	**16.8**	19.9	22.5	**28.2**
70 ～ 74 歳	21,512	27,232	**27,980**	26.6	**2.7**	22.1	23.9	**29.4**
75 ～ 79 歳	19,627	23,162	**33,903**	18.0	**46.4**	25.6	26.2	**31.6**
80 ～ 84 歳	18,655	20,319	**27,788**	8.9	**36.8**	30.3	30.8	**35.6**
85 歳 以 上	16,321	25,491	**36,475**	56.2	**43.1**	29.2	33.7	**40.8**
男　性	31,165	38,808	**52,621**	24.5	**35.6**	17.7	20.7	**27.0**
65 ～ 69 歳	10,965	10,763	**12,557**	▲ 1.8	**16.7**	19.2	23.2	**29.0**
70 ～ 74 歳	7,636	11,205	**12,602**	46.7	**12.5**	17.1	21.3	**28.4**
75 ～ 79 歳	5,371	6,802	**12,255**	26.6	**80.2**	16.2	17.7	**25.7**
80 ～ 84 歳	3,945	4,817	**7,210**	22.1	**49.7**	16.3	18.2	**23.1**
85 歳 以 上	3,248	5,221	**7,997**	60.7	**53.2**	19.5	22.2	**28.2**
女　性	68,797	79,297	**99,113**	15.3	**25.0**	29.2	31.3	**37.3**
65 ～ 69 歳	12,882	11,138	**13,031**	▲ 13.5	**17.0**	20.5	21.9	**27.5**
70 ～ 74 歳	13,876	16,027	**15,378**	15.5	**▲ 4.0**	26.3	26.3	**30.3**
75 ～ 79 歳	14,256	16,360	**21,648**	14.8	**32.3**	32.8	32.7	**36.4**
80 ～ 84 歳	14,710	15,502	**20,578**	5.4	**32.7**	39.3	39.3	**43.9**
85 歳 以 上	13,073	20,270	**28,478**	55.1	**40.5**	33.4	39.0	**46.6**

Ⅳ　住居

1　住宅の所有の関係

共同住宅では高層になるほど持ち家の割合が上昇

住宅に住む一般世帯数は 759,207 世帯で，前回調査と比べると，44,462 世帯，6.2%増加した。これを住宅の所有の関係別にみると，持ち家に住む世帯は 453,665 世帯(住宅に住む一般世帯総数の59.8%)で最も多く，民営の借家 208,463 世帯(同 27.5%)，公営・都市再生機構・公社の借家 69,563 世帯(同 9.2%),給与住宅 17,484 世帯(同 2.3%),間借り 10,032 世帯(同 1.3%)となっている。

住宅の建て方別に住宅の所有の関係別割合をみると，一戸建では持ち家が最も多く，95.2%と９割以上を占めている。長屋建でも持ち家が最も多く，65.2%と５割以上を占めている。共同住宅では，民営の借家が 42.9%で最も多く，次いで持ち家 37.2%，公営・都市再生機構・公社の借家 15.1%と続いている。特に共同住宅は，１・２階建では民営の借家が 89.5%であるが，高層になるにしたがって，民営の借家の割合が低くなり，持ち家の割合が上昇している。

また，住宅の所有関係別に住宅の建て方別割合をみると，持ち家は一戸建が 61.2%を占め，続いて，６階建以上の共同住宅が 28.4%となっている。これに対し，借家では一戸建は 3.2%にすぎず，大半が共同住宅で，３～５階建が 41.2%，６階建以上が 43.5%と３階以上の建物で８割以上を占めている。

表Ⅳ－１　住宅の所有の関係別，建て方別 住宅に住む一般世帯数

住宅の所有の関係	総数	一戸建	長屋建	共同住宅				その他
				総数	1・2階建	3～5階建	6階建以上	
	実数							
住宅に住む一般世帯	759,207	291,673	7,607	459,158	34,436	164,675	260,047	769
持ち家	453,665	277,571	4,961	170,819	923	41,185	128,711	314
借家	278,026	8,840	2,325	266,591	30,881	114,679	121,031	270
公営・都市再生機構・公社の借家	69,563	28	80	69,455	44	26,833	42,578	－
民営の借家	208,463	8,812	2,245	197,136	30,837	87,846	78,453	270
給与住宅	17,484	983	130	16,264	1,976	6,023	8,265	107
間借り	10,032	4,279	191	5,484	656	2,788	2,040	78
	住宅の所有の関係別割合（%）							
住宅に住む一般世帯	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
持ち家	59.8	95.2	65.2	37.2	2.7	25.0	49.5	40.8
借家	36.6	3.0	30.6	58.1	89.7	69.6	46.5	35.1
公営・都市再生機構・公社の借家	9.2	0.0	1.1	15.1	0.1	16.3	16.4	－
民営の借家	27.5	3.0	29.5	42.9	89.5	53.3	30.2	35.1
給与住宅	2.3	0.3	1.7	3.5	5.7	3.7	3.2	13.9
間借り	1.3	1.5	2.5	1.2	1.9	1.7	0.8	10.1
	住宅の建て方別割合（%）							
住宅に住む一般世帯	100.0	38.4	1.0	60.5	4.5	21.7	34.3	0.1
持ち家	100.0	61.2	1.1	37.7	0.2	9.1	28.4	0.1
借家	100.0	3.2	0.8	95.9	11.1	41.2	43.5	0.1
都市再生機構・公社の借家	100.0	0.0	0.1	99.8	0.1	38.6	61.2	0.0
民営の借家	100.0	4.2	1.1	94.6	14.8	42.1	37.6	0.1
給与住宅	100.0	5.6	0.7	93.0	11.3	34.4	47.3	0.6
間借り	100.0	42.7	1.9	54.7	6.5	27.8	20.3	0.8

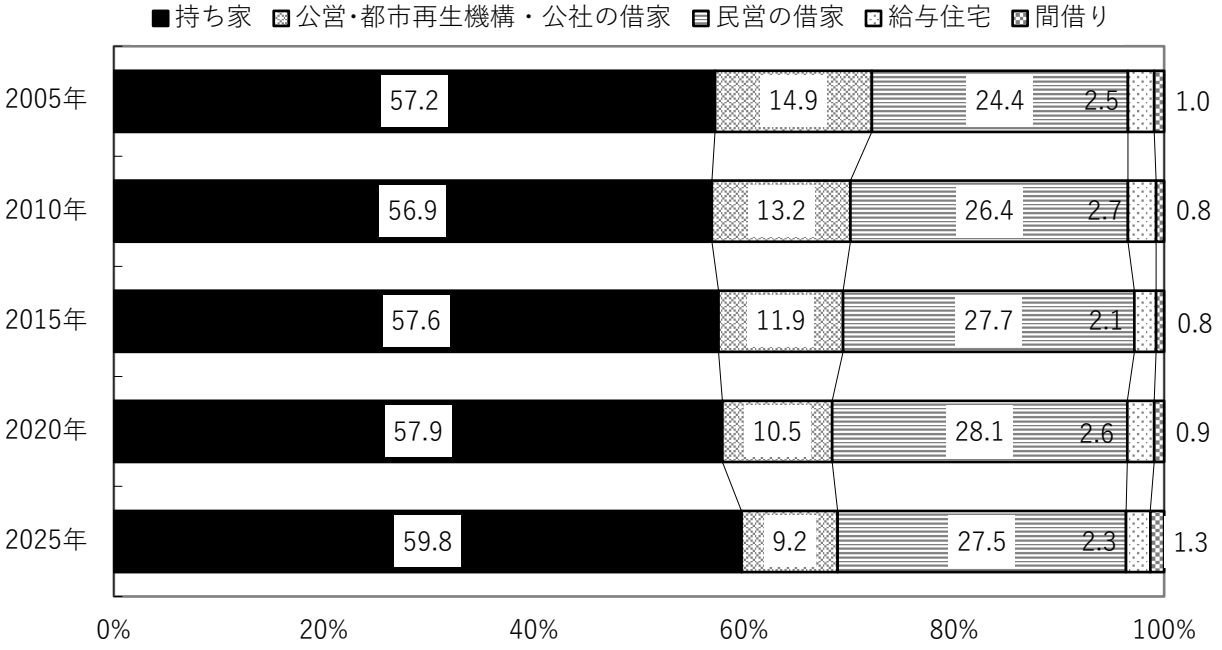
持ち家率が引き続き増加

2005 年以降について，住宅の所有の関係別に，住宅に住む一般世帯数の割合の推移をみると，持ち家の割合（持ち家率）は 2010 年に減少に転じたものの，2015 年以降は再び増加に転じ，今回調査では 59.8%となっている。

公営・都市再生機構・公社の借家の割合は，仮設住宅や復興住宅の建設等により 1995 年に 18.5%となっていたが，以降の調査では減少し続けており，今回調査では 9.2%となった。民営の借家は 2005 年以降増加傾向が続いているが、2025 年は割合のみ減少した。給与住宅は今回調査では減少している。

全国と比べると持ち家率が低く，公営・都市再生機構・公社の借家の割合が高くなっているのが特徴である。

図Ⅳ-1　住宅の所有の関係別　住宅に住む一般世帯数に占める割合の推移



表Ⅳ－2　住宅の所有の関係別 住宅に住む一般世帯数の推移

年　次	総　数	主世帯						間借り
		持ち家	借家				給与住宅	
			総　数	a)公営･都市再生機構・公社の借家	民営の借家			
				実　数				
2005 年　(平成　17 年)	630,594	360,909	248,046	94,215	153,831		15,583	6,056
2010 年　(　　22 年)	678,102	386,147	268,584	89,463	179,121		18,140	5,231
2015 年　(　　27 年)	694,641	399,926	275,051	82,390	192,661		14,340	5,324
2020 年　(令和　2 年)	714,745	414,132	275,578	74,717	200,861		18,346	6,689
2025 年　(　　7 年)	**759,207**	**453,665**	**278,026**	**69,563**	**208,463**		**17,484**	**10,032**
				割　合 (%)				
2005 年　(平成　17 年)	100.0	57.2	39.3	14.9	24.4		2.5	1.0
2010 年　(　　22 年)	100.0	56.9	39.6	13.2	26.4		2.7	0.8
2015 年　(　　27 年)	100.0	57.6	39.6	11.9	27.7		2.1	0.8
2020 年　(令和　2 年)	100.0	57.9	38.6	10.5	28.1		2.6	0.9
2025 年　(　　7 年)	**100.0**	**59.8**	**36.6**	**9.2**	**27.5**		**2.3**	**1.3**
(参考) 全　国	100.0	60.7	35.2	4.3	30.9		2.7	1.4

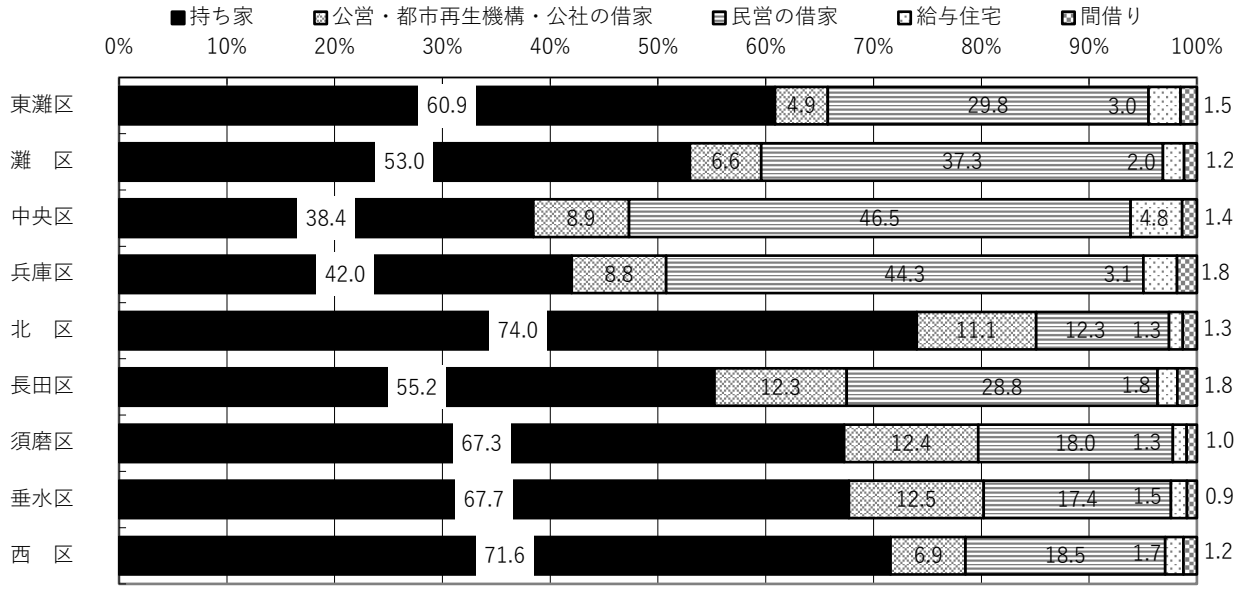
a) 2000年以前は「公営・公団・公社の借家」

持ち家率は北区が最も高く 74.0%

住宅の所有の関係別割合を区別にみると，持ち家率は北区が 74.0%と最も高く，次いで西区 71.6%，垂水区 67.7%と続いている。一方，持ち家率が最も低いのは中央区で 38.4%，次いで兵庫区 42.0%，灘区 53.0%となっているが，この 3 区は民営の借家の割合が高く，中央区は 46.5%，兵庫区と灘区も 40%前後を占めている。

中央区は他区に比べ給与住宅の割合が高くなっている。

図Ⅳ－2　区別 住宅の所有の関係別 住宅に住む一般世帯総数に占める割合



表Ⅳ－3　区別　住宅の所有の関係別　住宅に住む一般世帯数

区　名	総　数	主世帯					間借り
		持ち家	借家			給与住宅	
			総　数	公営・都市再生機構・公社の借家	民営の借家		
				実　数			
全　市	759,207	453,665	278,026	69,563	208,463	17,484	10,032
東灘区	104,420	63,557	36,174	5,092	31,082	3,119	1,570
灘　区	72,566	38,430	31,855	4,807	27,048	1,426	855
中央区	95,989	36,889	53,194	8,517	44,677	4,591	1,315
兵庫区	66,809	28,056	35,431	5,853	29,578	2,090	1,232
北　区	90,773	67,177	21,258	10,059	11,199	1,148	1,190
長田区	53,119	29,343	21,835	6,519	15,316	980	961
須磨区	75,721	50,944	23,081	9,417	13,664	968	728
垂水区	97,090	65,734	29,026	12,161	16,865	1,421	909
西　区	102,720	73,535	26,172	7,138	19,034	1,741	1,272
				割　合（%）			
全　市	100.0	59.8	36.6	9.2	27.5	2.3	1.3
東灘区	100.0	60.9	34.6	4.9	29.8	3.0	1.5
灘　区	100.0	53.0	43.9	6.6	37.3	2.0	1.2
中央区	100.0	38.4	55.4	8.9	46.5	4.8	1.4
兵庫区	100.0	42.0	53.0	8.8	44.3	3.1	1.8
北　区	100.0	74.0	23.4	11.1	12.3	1.3	1.3
長田区	100.0	55.2	41.1	12.3	28.8	1.8	1.8
須磨区	100.0	67.3	30.5	12.4	18.0	1.3	1.0
垂水区	100.0	67.7	29.9	12.5	17.4	1.5	0.9
西　区	100.0	71.6	25.5	6.9	18.5	1.7	1.2

2　住宅の建て方

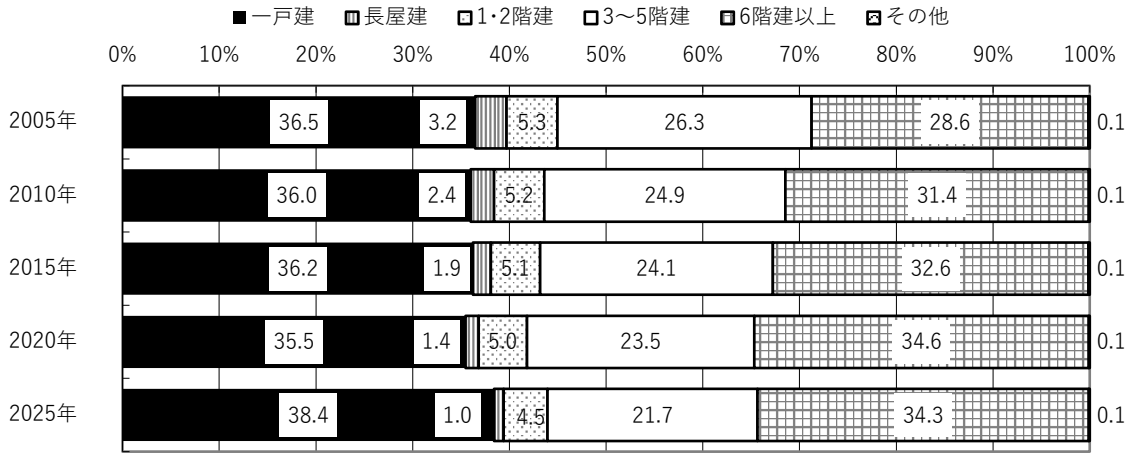
一戸建の割合が増加

住宅に住む一般世帯数を住宅の建て方別にみると，共同住宅に住む世帯が 459,158 世帯（住宅に住む一般世帯総数の 60.5%）で最も多く，一戸建 291,673 世帯（同 38.4%），長屋建 7,607 世帯（同 1.0%）と続いている。共同住宅を階数別にみると，6 階建以上が最も多く 260,047 世帯（同 34.3%），次いで 3 ～ 5 階建 164,675 世帯（同 21.7%），１・２階建 34,436 世帯（同 4.5%）となっている。

2005 年以降について，住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数の割合の推移をみると，一戸建の割合は 35%前後で横ばいだったのが 2025 年は 38.4%に増加，長屋建の割合は 2005 年以降低下し続けている。共同住宅の割合は調査ごとに上昇していたが，2025 年は低下した。

全国と比べても共同住宅の割合，とりわけ 6 階建以上の割合が高いのが特徴である。

図Ⅳ-3　住宅の建て方別 住宅に住む一般世帯総数に占める割合の推移



表Ⅳ－4　住宅の建て方別 住宅に住む一般世帯数の推移

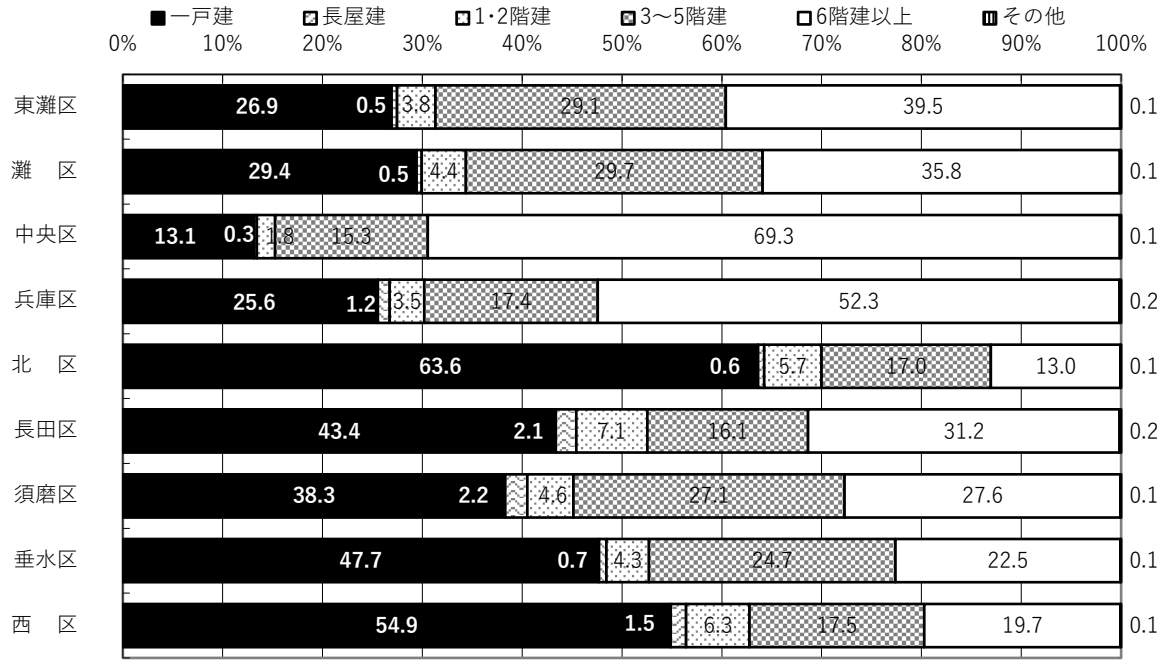
年　次	総 数 a)	一 戸 建	長 屋 建	共同住宅 総数 b)	共同住宅 1・2 階建	共同住宅 3 ～ 5 階建	共同住宅 6 階建以上	その他
				実　数				
2005 年（平成　17 年）	630,594	230,016	20,298	379,465	33,257	165,586	180,622	815
2010 年（　　22 年）	678,102	244,152	16,300	416,897	35,197	169,097	212,602	744
2015 年（　　27 年）	694,641	251,550	12,907	429,264	35,390	167,236	226,638	920
2020 年（令和　2 年）	714,745	253,536	9,693	450,774	35,776	167,767	247,231	742
2025 年（　　7 年）	**759,207**	**291,673**	**7,607**	**459,158**	**34,436**	**164,675**	**260,047**	**769**
				割　合（%）				
2005 年（平成　17 年）	100.0	36.5	3.2	60.2	5.3	26.3	28.6	0.1
2010 年（　　22 年）	100.0	36.0	2.4	61.5	5.2	24.9	31.4	0.1
2015 年（　　27 年）	100.0	36.2	1.9	61.8	5.1	24.1	32.6	0.1
2020 年（令和　2 年）	100.0	35.5	1.4	63.1	5.0	23.5	34.6	0.1
2025 年（　　7 年）	**100.0**	**38.4**	**1.0**	**60.5**	**4.5**	**21.7**	**34.3**	**0.1**
				(100.0)	**(7.5)**	**(35.9)**	**(56.6)**	
（参考）全国	100.0	52.7	1.1	46.1	12.4	16.7	16.9	0.1

※（ ）内は共同住宅に占める階数別割合である。
a) 住宅の建て方「不詳」を含む。
b) 建物全体の階数「不詳」を含む。

中央区では６階建以上の共同住宅が約７割

住宅の建て方別の割合を区別にみると，北区，西区は一戸建の割合がそれぞれ 63.6%，54.9%と５割以上を占めている。中央区は一戸建の割合は 13.1%と９区の中で最も低いが，共同住宅の割合は 86.4%で最も高く，特に６階建以上の割合が 69.3%と７割に近い。また，兵庫区でも６階建以上の割合が５割を超えている。長田区，須磨区は他区に比べ長屋建の割合が高くなっている。

図Ⅳ－４　区別　住宅の建て方別 住宅に住む一般世帯総数に占める割合



表Ⅳ－５　区別 住宅の建て方別 住宅に住む一般世帯数

区　名	総数 a)	一戸建	長屋建	共同住宅				その他
				総数 b)	1・2階建	3～5階建	6階建以上	
				実　数				
全　市	759,207	291,673	7,607	459,158	34,436	164,675	260,047	769
東灘区	104,420	28,126	551	75,655	4,006	30,377	41,272	88
灘　区	72,566	21,352	380	50,729	3,212	21,570	25,947	105
中央区	95,989	12,622	276	82,956	1,743	14,665	66,548	135
兵庫区	66,809	17,070	785	48,847	2,321	11,599	34,927	107
北　区	90,773	57,753	571	32,392	5,199	15,404	11,789	57
長田区	53,119	23,037	1,093	28,904	3,778	8,560	16,566	85
須磨区	75,721	29,008	1,663	44,995	3,512	20,552	20,931	55
垂水区	97,090	46,319	703	49,996	4,143	23,971	21,882	72
西　区	102,720	56,386	1,585	44,684	6,522	17,977	20,185	65
				割　合（%）				
全　市	100.0	38.4	1.0	60.5	4.5	21.7	34.3	0.1
東灘区	100.0	26.9	0.5	72.5	3.8	29.1	39.5	0.1
灘　区	100.0	29.4	0.5	69.9	4.4	29.7	35.8	0.1
中央区	100.0	13.1	0.3	86.4	1.8	15.3	69.3	0.1
兵庫区	100.0	25.6	1.2	73.1	3.5	17.4	52.3	0.2
北　区	100.0	63.6	0.6	35.7	5.7	17.0	13.0	0.1
長田区	100.0	43.4	2.1	54.4	7.1	16.1	31.2	0.2
須磨区	100.0	38.3	2.2	59.4	4.6	27.1	27.6	0.1
垂水区	100.0	47.7	0.7	51.5	4.3	24.7	22.5	0.1
西　区	100.0	54.9	1.5	43.5	6.3	17.5	19.7	0.1

3　65 歳以上世帯員がいる世帯の住宅のようす

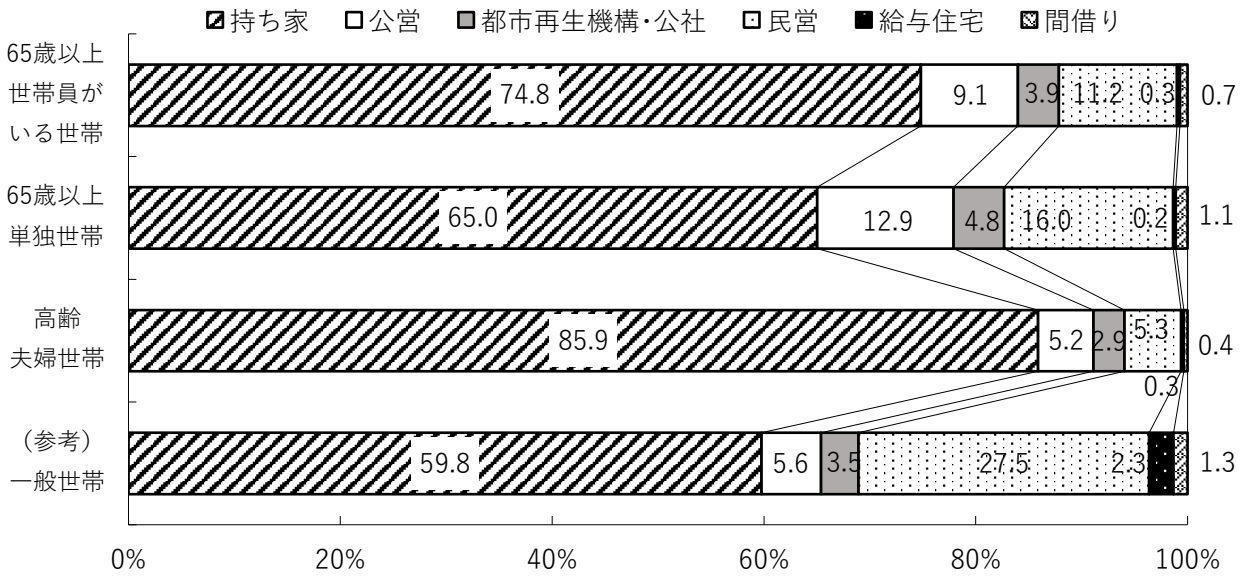
単独世帯で目立つ借家住まい

65 歳以上世帯員がいる一般世帯の住居のようすを住宅の所有の関係別にみると，持ち家が 238,680 世帯（65 歳以上世帯員がいる一般世帯の総数に占める割合 74.8%）で最も多く，民営の借家 35,640 世帯（同 11.2%），公営の借家 29,178 世帯（同 9.1%）と続いている。

65 歳以上世帯員の単独世帯では，持ち家 98,293 世帯（65 歳以上世帯員の単独世帯総数に占める割合 65.0%），民営の借家 24,152 世帯(同 16.0%)，公営の借家 19,455 世帯(同 12.9%)となっている。持ち家率については，65 歳以上世帯員がいる一般世帯全体と比べて 9.8 ポイント低くなっているのに対し，公営の借家の割合は 3.7 ポイント，民営の借家の割合は 4.8 ポイント，それぞれ上回っている。特に男性は，女性に比べ借家に住む割合が高い。

高齢夫婦世帯をみると，持ち家が 75,327 世帯（高齢夫婦世帯総数に占める割合 85.9%）と約８割を占め，次いで民営の借家 4,690 世帯（同 5.3%）となっている。

図Ⅳ-5　住宅に住む65歳以上世帯員がいる一般世帯の住宅の所有の関係別割合



表Ⅳ－6　住宅の所有の関係別　住宅に住む65歳以上世帯員がいる一般世帯数及び割合

住宅の所有の関係	実数						割合（%）					
	65歳以上世帯員がいる一般世帯	うち単独世帯			うち高齢夫婦世帯	（参考）一般世帯	65歳以上世帯員がいる一般世帯	うち単独世帯			うち高齢夫婦世帯	（参考）一般世帯
		総数	男	女				総数	男	女		
総数	318,999	151,163	52,444	98,719	87,707	759,207	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
持ち家	238,680	98,293	31,461	66,832	75,327	453,665	74.8	65.0	60.0	67.7	85.9	59.8
借家	77,156	50,825	20,325	30,500	11,839	278,026	24.2	33.6	38.8	30.9	13.5	36.6
公営	29,178	19,455	6,357	13,098	4,579	42,865	9.1	12.9	12.1	13.3	5.2	5.6
都市再生機構・公社	12,338	7,218	2,761	4,457	2,570	26,698	3.9	4.8	5.3	4.5	2.9	3.5
民営	35,640	24,152	11,207	12,945	4,690	208,463	11.2	16.0	21.4	13.1	5.3	27.5
給与住宅	831	342	223	119	232	17,484	0.3	0.2	0.4	0.1	0.3	2.3
間借り	2,332	1,703	435	1268	309	10,032	0.7	1.1	0.8	1.3	0.4	1.3

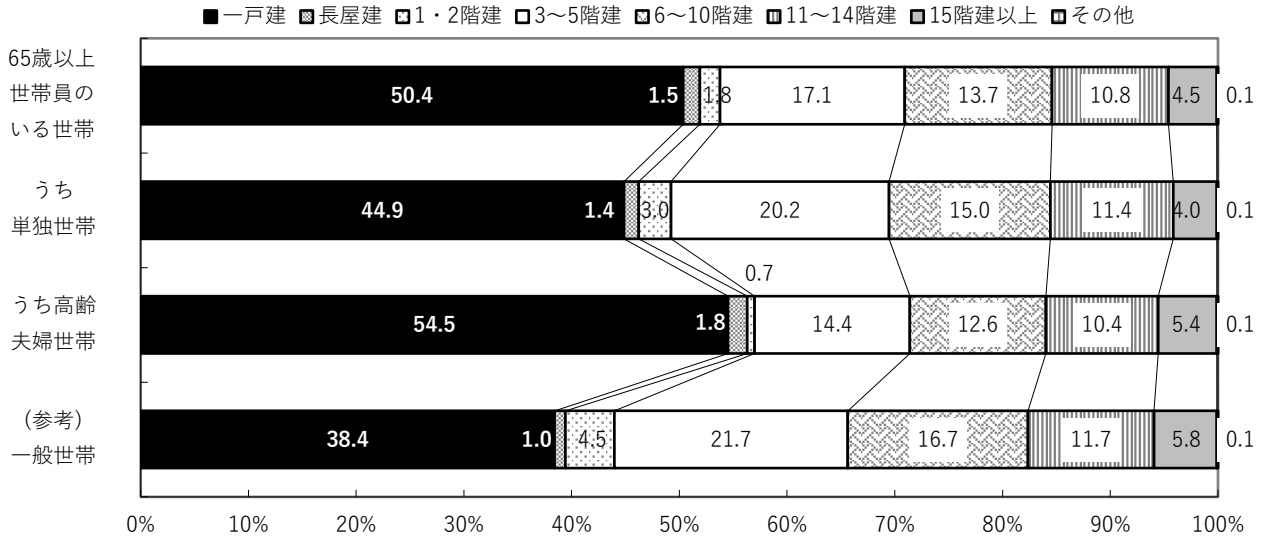
65 歳以上世帯員がいる一般世帯では一戸建の割合が高い

65 歳以上世帯員がいる一般世帯の住居のようすを住宅の建て方別にみると，一戸建が 160,677 世帯(65歳以上世帯員がいる世帯の総数に占める割合50.4%)で最も多く,共同住宅の 3 ～ 5 階建54,703 世帯（同 17.1%），6 ～10 階建 43,667 世帯（同 13.7%）と続いている。一般世帯全体と比べて，一戸建の割合が高くなっている。

単独世帯をみると,一戸建が 67,834 世帯(65 歳以上世帯員の単独世帯総数に占める割合 44.9%),次いで共同住宅の 3 ～ 5 階建 30,585 世帯（同 20.2%），6 ～10 階建 22,652 世帯（同 15.0%）となっている。

高齢夫婦世帯をみると，一戸建が 47,827 世帯（高齢夫婦世帯総数に占める割合 54.5%）で，共同住宅の 3 ～ 5 階建 12,653 世帯（同 14.4%），6 ～10 階建 11,060 世帯（同 12.6%）と続いている。

図Ⅳ－6　住宅の建て方別，住宅に住む65歳以上世帯員がいる一般世帯の割合



表Ⅳ－7　住宅の建て方別住宅に住む65歳以上世帯員がいる一般世帯数及び割合

住宅の建て方	実数				割合（%）			
	65歳以上世帯員がいる一般世帯	うち単独世帯	うち高齢夫婦世帯	(参考)一般世帯	65歳以上世帯員がいる一般世帯	うち単独世帯	うち高齢夫婦世帯	(参考)一般世帯
総数 a)	318,999	151,163	87,707	759,207	100.0	100.0	100.0	100.0
一戸建	160,677	67,834	47,827	291,673	50.4	44.9	54.5	38.4
長屋建	4,941	2,047	1,565	7,607	1.5	1.4	1.8	1.0
共同住宅	152,993	81,104	38,212	459,158	48.0	53.7	43.6	60.5
1・2階建	5,893	4,532	585	34,436	1.8	3.0	0.7	4.5
3～5階建	54,703	30,585	12,653	164,675	17.1	20.2	14.4	21.7
6～10階建	43,667	22,652	11,060	126,921	13.7	15.0	12.6	16.7
11～14階建	34,491	17,238	9,154	88,788	10.8	11.4	10.4	11.7
15階建以上	14,239	6,097	4,760	44,338	4.5	4.0	5.4	5.8
その他	388	178	103	769	0.1	0.1	0.1	0.1

Ⅴ　外国人

1　概要

外国人人口の総人口に占める割合は 4.16%

神戸市に在住する外国人は 62,234 人で，外国人人口は神戸市総人口の 4.16%を占める。

男女別にみると，男性 30,826 人，女性 31,408 人となっている。

国籍別の割合をみると，中国が 16,564 人で最も多く，次いで韓国，朝鮮 14,297 人となっており，この上位２カ国で外国人全体の５割近くを占めている。前回調査と比較可能な国籍では，ネパールの割合が最も伸びており，7.8 ポイント増であった。

外国人人口が神戸市の総人口に占める割合は前回調査から 1.15 ポイント増加した。

全国の総人口に占める外国人人口の割合は 3.12%であり，全国と比較すると 1.04 ポイント高い。

表Ⅴ－1　外国人数の推移

年　次	総　数	外国人の人口総数に占める割合(%)	(参　考) 人口総数
2005 年(平成　17 年)	36,598	2.40	1,525,393
2010 年(　　22 年)	34,037	2.20	1,544,200
2015 年(　　27 年)	36,999	2.41	1,537,272
2020 年(令和　 2 年)	45,970	3.01	1,525,152
2025 年(令和　 7 年)	**62,234**	**4.16**	**1,494,997**
（参考）全　国	3,840,039	3.12	122,972,528

注）2015年以降は不詳補完値により算出。

表Ⅴ－2　国籍別　外国人数

国　籍	2025年（令和7年）				2020年（令和2年）		割合増減
	総　数	男	女	割　合	総数	割　合	
総数	62,234	30,826	31,408	100.0	45,970	100.0	…
韓国，朝鮮	14,297	6,517	7,780	23.0	16,143	35.1	▲12.1
中国	16,564	7,913	8,651	26.6	14,361	31.2	▲4.6
フィリピン	1,899	750	1,149	3.1	1,305	2.8	0.2
タイ	375	124	251	0.6	232	0.5	0.1
インドネシア	1,795	1,040	755	2.9	390	0.8	2.0
ベトナム	9,287	4,722	4,565	14.9	6,857	14.9	0.0
インド	974	547	427	1.6	779	1.7	▲0.1
ネパール	6,148	3,095	3,053	9.9	944	2.1	7.8
カンボジア	56	37	19	0.1	…	…	…
スリランカ	680	385	295	1.1	…	…	…
パキスタン	205	143	62	0.3	…	…	…
バングラデシュ	1,156	1,010	146	1.9	…	…	…
マレーシア	132	76	56	0.2	…	…	…
ミャンマー	2,995	1,158	1,837	4.8	…	…	…
モンゴル	140	63	77	0.2	…	…	…
イギリス	372	266	106	0.6	291	0.6	▲0.0
フランス	229	153	76	0.4	…	…	…
ロシア	190	76	114	0.3	…	…	…
アメリカ	1,258	808	450	2.0	996	2.2	▲0.1
カナダ	242	177	65	0.4	…	…	…
ブラジル	461	236	225	0.7	471	1.0	▲0.3
ペルー	174	94	80	0.3	170	0.4	▲0.1
オーストラリア	188	139	49	0.3	…	…	…
その他 a)	2,417	1,297	1,120	3.9	3,031	6.6	▲2.7

注）国籍の区分及び並びは総務省統計局による。

注)不詳補完値により算出。

a) 無国籍及び国名「不詳」を含む。

外国人人口の割合が高い区は中央区

区の総人口に占める外国人人口の割合をみると，最も高いのは中央区で 10.5%，次いで長田区 9.2%となっている。一方，最も低いのは垂水区で 1.6%となっている。

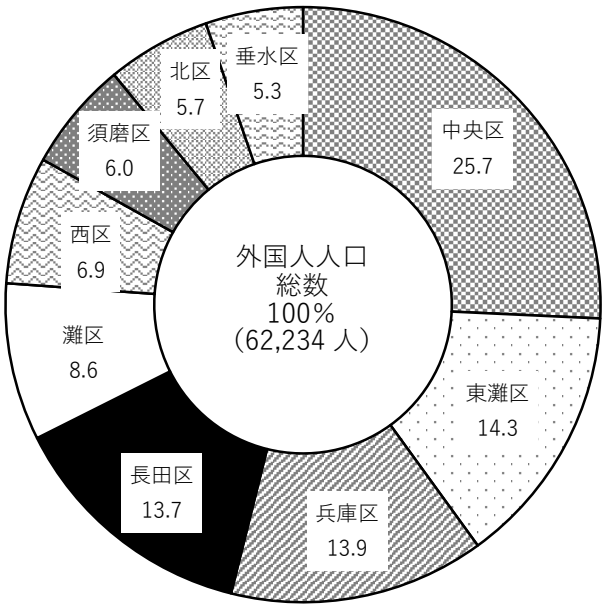
外国人人口の割合を区別にみると，最も割合が高いのは中央区 25.7%，次いで東灘区 14.3%，兵庫区 13.9%となっており，３区で５割を超えている。

表Ⅴ－3　区別　外国人数

区　　名	総　数	外国人の人口総数に占める割合(%)	（参考）人口総数
全　　市	62,234	4.2	1,494,997
東灘区	8,881	4.2	211,504
灘　　区	5,322	3.9	137,037
中央区	16,019	10.5	151,949
兵庫区	8,637	7.7	111,678
北　　区	3,521	1.7	203,183
長田区	8,533	9.2	92,901
須磨区	3,706	2.4	152,394
垂水区	3,292	1.6	206,457
西　　区	4,323	1.9	227,894

注）不詳補完値により算出。

図Ⅴ－1　区別　外国人割合



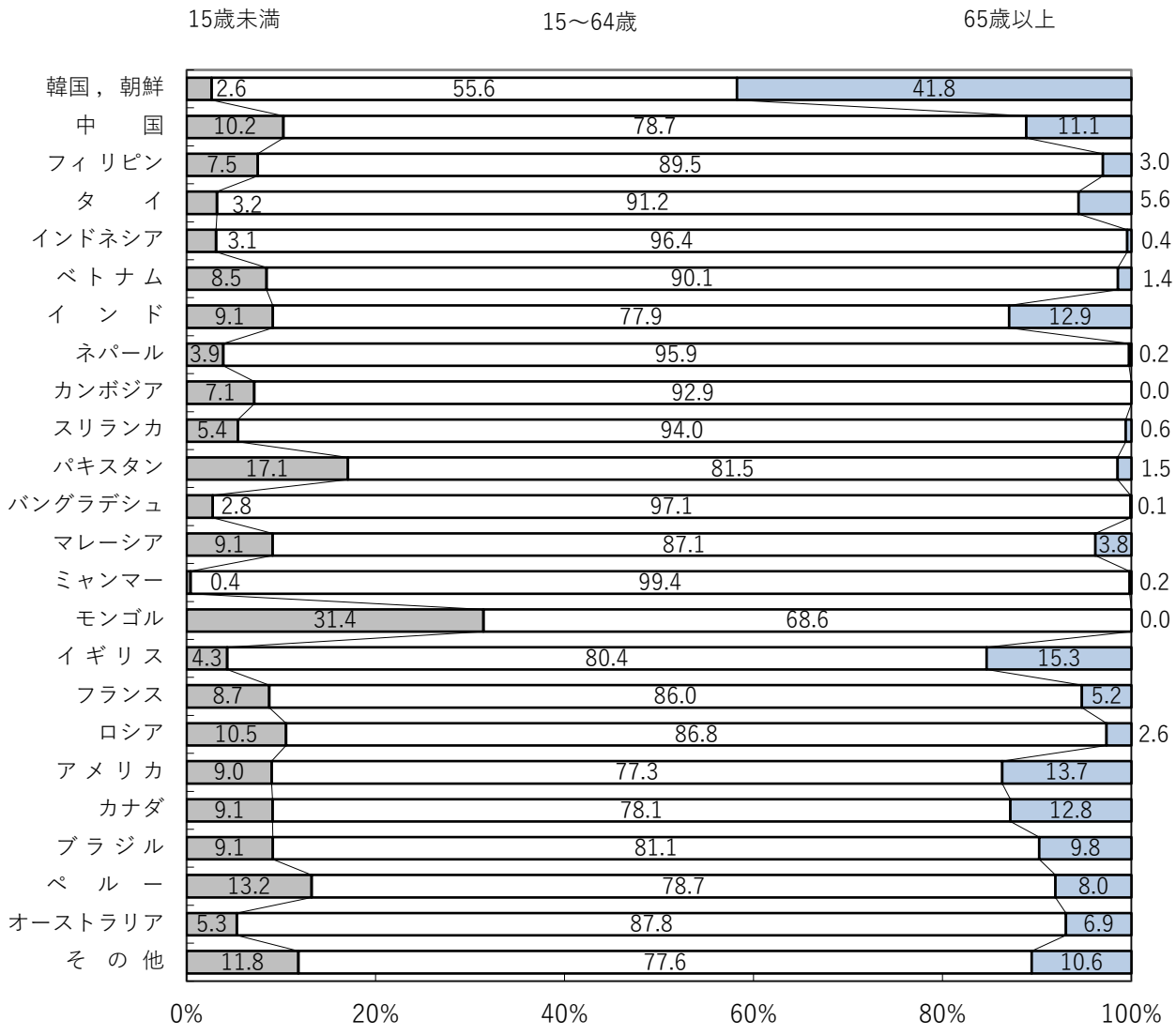
2　年齢別人口

外国人では 15～64 歳人口の割合が高い

外国人人口を年齢 3 区分別にみると，15 歳未満人口は 4,121 人(外国人総数に占める割合 6.6%)，15～64 歳人口は 49,323 人（同 79.3%），65 歳以上人口は 8,790 人（同 14.1%）となっている。神戸市の総人口における年齢 3 区分別人口割合と比べると 15 歳未満人口は 3.6 ポイント，65 歳以上人口は 16.7 ポイント下回っており，15～64 歳人口は 20.3 ポイント上回っている。

国籍別にみると，いずれの国籍も，15～64 歳人口の割合が高い。15 歳未満人口割合はモンゴルが高く，ミャンマー，韓国，朝鮮，バングラデシュなどが低い。一方 65 歳以上人口割合では，韓国，朝鮮の高齢化が進むほか，イギリス，アメリカなどが高く，カンボジア，モンゴル，バングラデシュ，ネパール等は低い。

図Ⅴ－2　国籍別　年齢（3 区分）別人口割合



表Ⅴ－4　国籍別　年齢（3区分）別人口

国　籍	人　口				総数に占める割合（%）		
	総　数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
総　数　c)	62,234	4,121	49,323	8,790	6.6	79.3	14.1
韓国，朝鮮	14,297	375	7,952	5,970	2.6	55.6	41.8
中　国	16,564	1,695	13,028	1,841	10.2	78.7	11.1
フィリピン	1,899	143	1,699	57	7.5	89.5	3.0
タ　イ	375	12	342	21	3.2	91.2	5.6
インドネシア	1,795	56	1,731	8	3.1	96.4	0.4
ベトナム	9,287	785	8,371	131	8.5	90.1	1.4
イ　ン　ド	974	89	759	126	9.1	77.9	12.9
ネパール	6,148	238	5,896	14	3.9	95.9	0.2
カンボジア	56	4	52	-	7.1	92.9	-
スリランカ	680	37	639	4	5.4	94.0	0.6
パキスタン	205	35	167	3	17.1	81.5	1.5
バングラデシュ	1,156	32	1,123	1	2.8	97.1	0.1
マレーシア	132	12	115	5	9.1	87.1	3.8
ミャンマー	2,995	12	2,978	5	0.4	99.4	0.2
モンゴル	140	44	96	-	31.4	68.6	-
イギリス	372	16	299	57	4.3	80.4	15.3
フランス	229	20	197	12	8.7	86.0	5.2
ロシア	190	20	165	5	10.5	86.8	2.6
アメリカ	1,258	113	973	172	9.0	77.3	13.7
カナダ	242	22	189	31	9.1	78.1	12.8
ブラジル	461	42	374	45	9.1	81.1	9.8
ペルー	174	23	137	14	13.2	78.7	8.0
オーストラリア	188	10	165	13	5.3	87.8	6.9
その他　a)	2,417	286	1,876	255	11.8	77.6	10.6
(参考)神戸市総人口	1,494,997	152,690	881,664	460,643	10.2	59.0	30.8

注) 不詳補完値により算出。

a) 無国籍及び国名「不詳」を含む。

Ⅵ　大都市の年齢３区分比較【参考】

1　年齢３区分別人口割合

神戸市の65歳以上人口割合は，大都市平均よりも高い

表Ⅵ-1　大都市　年齢（３区分）別人口

都　市	2020年(令和2年)人口					**2025年(令和7年)人口**				
	総　数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	75歳以上
神　戸　市	**1,525,152**	**174,866**	**909,267**	**441,019**	**229,887**	**1,494,997**	**152,690**	**881,664**	**460,643**	**274,745**
札　幌　市	1,973,395	215,389	1,209,045	548,961	268,519	1,961,996	193,845	1,194,208	573,943	323,370
仙　台　市	1,096,704	128,966	705,871	261,867	129,410	1,096,146	116,514	703,404	276,228	154,472
さいたま市	1,324,025	168,849	843,463	311,713	161,993	1,344,865	159,451	859,149	326,265	191,989
千　葉　市	974,951	111,506	602,563	260,882	136,320	994,846	103,433	626,988	264,425	160,950
東京都区部	9,733,276	1,060,410	6,577,761	2,095,105	1,108,652	9,944,109	998,849	6,831,841	2,113,389	1,240,646
横　浜　市	3,777,491	441,916	2,390,041	945,526	496,316	3,750,952	399,736	2,391,962	959,254	569,780
川　崎　市	1,538,262	189,534	1,037,037	311,691	159,963	1,559,571	172,235	1,064,104	323,232	186,384
相模原市	725,493	82,548	453,471	189,474	96,628	718,908	72,729	450,497	195,682	117,347
新　潟　市	789,275	91,181	464,556	233,538	118,479	759,139	80,272	445,074	233,793	134,499
静　岡　市	693,389	78,443	403,743	211,203	112,100	658,781	67,215	382,870	208,696	125,308
浜　松　市	790,718	101,746	466,169	222,803	116,223	765,254	87,476	450,585	227,193	131,704
名古屋市	2,332,176	277,866	1,469,377	584,933	307,334	2,345,186	251,499	1,498,831	594,845	351,395
京　都　市	1,463,723	153,399	896,376	413,939	220,227	1,430,062	132,091	890,022	407,949	252,237
大　阪　市	2,752,412	290,979	1,755,754	705,679	373,893	2,805,371	267,318	1,846,214	691,829	412,821
堺　　市	826,161	102,096	484,606	239,459	125,944	802,648	89,040	480,762	232,846	146,010
岡　山　市	724,691	92,892	442,870	188,929	98,678	707,387	83,335	432,720	191,332	113,025
広　島　市	1,200,754	159,056	734,526	307,172	154,188	1,171,915	140,482	716,844	314,589	186,014
北九州市	939,029	111,344	532,554	295,122	154,716	903,592	100,122	515,122	288,329	172,141
福　岡　市	1,612,392	205,064	1,057,771	349,557	168,330	1,662,793	195,510	1,096,439	370,826	203,757
熊　本　市	738,865	99,589	444,943	194,333	98,203	730,882	92,127	436,269	202,486	112,852
全　　国	126,146,099	15,027,298	75,149,323	35,968,868	18,569,009	122,972,528	13,349,001	73,480,843	36,141,613	21,169,152

注）不詳補完値により算出。

表Ⅵ-2　大都市　15歳未満人口割合，15～64歳人口割合及び65歳以上人口割合

都　市	15歳未満人口割合					15～64歳人口割合					65歳以上人口割合				
	2020年 (%) (令和2年)	**2025年 (%) (令和7年)**	増減	順位 2020年 (令和2年)	順位 **2025年 (令和7年)**	2020年 (%) (令和2年)	**2025年 (%) (令和7年)**	増減	順位 2020年 (令和2年)	順位 **2025年 (令和7年)**	2020年 (%) (令和2年)	**2025年 (%) (令和7年)**	増減	順位 2020年 (令和2年)	順位 **2025年 (令和7年)**
神　戸　市	**11.5**	**10.2**	**▲ 1.3**	**14**	**15**	**59.6**	**59.0**	**▲ 0.6**	**16**	**17**	**28.9**	**30.8**	**1.9**	**5**	**3**
札　幌　市	10.9	9.9	▲ 1.0	18	19	61.3	60.9	▲ 0.4	11	14	27.8	29.3	1.4	8	6
仙　台　市	11.8	10.6	▲ 1.1	11	12	64.4	64.2	▲ 0.2	4	5	23.9	25.2	1.3	17	16
さいたま市	12.8	11.9	▲ 0.9	5	3	63.7	63.9	0.2	6	7	23.5	24.3	0.7	18	18
千　葉　市	11.4	10.4	▲ 1.0	15	14	61.8	63.0	1.2	10	9	26.8	26.6	▲ 0.2	9	13
東京都区部	10.9	10.0	▲ 0.9	19	18	67.6	68.7	1.1	1	1	21.5	21.3	▲ 0.3	20	20
横　浜　市	11.7	10.7	▲ 1.0	12	11	63.3	63.8	0.5	7	8	25.0	25.6	0.5	16	14
川　崎　市	12.3	11.0	▲ 1.3	8	9	67.4	68.2	0.8	2	2	20.3	20.7	0.5	21	21
相模原市	11.4	10.1	▲ 1.3	16	17	62.5	62.7	0.2	9	10	26.1	27.2	1.1	11	10
新　潟　市	11.6	10.6	▲ 1.0	13	13	58.9	58.6	▲ 0.2	18	19	29.6	30.8	1.2	3	4
静　岡　市	11.3	10.2	▲ 1.1	17	16	58.2	58.1	▲ 0.1	20	20	30.5	31.7	1.2	2	2
浜　松　市	12.9	11.4	▲ 1.4	3	6	59.0	58.9	▲ 0.1	17	18	28.2	29.7	1.5	7	5
名古屋市	11.9	10.7	▲ 1.2	9	10	63.0	63.9	0.9	8	6	25.1	25.4	0.3	15	15
京　都　市	10.5	9.2	▲ 1.2	21	21	61.2	62.2	1.0	12	11	28.3	28.5	0.2	6	8
大　阪　市	10.6	9.5	▲ 1.0	20	20	63.8	65.8	2.0	5	4	25.6	24.7	▲ 1.0	13	17
堺　　市	12.4	11.1	▲ 1.3	7	7	58.7	59.9	1.2	19	15	29.0	29.0	0.0	4	7
岡　山　市	12.8	11.8	▲ 1.0	4	4	61.1	61.2	0.1	14	12	26.1	27.0	1.0	12	11
広　島　市	13.2	12.0	▲ 1.3	2	2	61.2	61.2	▲ 0.0	13	13	25.6	26.8	1.3	14	12
北九州市	11.9	11.1	▲ 0.8	10	8	56.7	57.0	0.3	21	21	31.4	31.9	0.5	1	1
福　岡　市	12.7	11.8	▲ 1.0	6	5	65.6	65.9	0.3	3	3	21.7	22.3	0.6	19	19
熊　本　市	13.5	12.6	▲ 0.9	1	1	60.2	59.7	▲ 0.5	15	16	26.3	27.7	1.4	10	9
大都市平均	11.9	10.8	▲ 1.1			61.9	62.2	0.4			26.2	27.0	0.7		
全　　国	11.9	10.9	▲ 1.1			59.6	59.8	0.2			28.5	29.4	0.9		

注）不詳補完値により算出。

前回調査と比較して，全ての都市で15歳未満人口の割合が低下しており，東京都区部，千葉市，大阪市を除いた都市で65歳以上人口割合が上昇していることから，少子高齢化が進行していることが分かる。

⑴15歳未満人口割合

神戸市の15歳未満人口割合は10.2%で，大都市平均10.8%より0.6ポイント低い。

大都市で15歳未満人口割合が最も高いのは熊本市の12.6%で，低いのは京都市の9.2%である。

15歳未満人口割合は，前回調査に比べ全ての都市で低下している。最も低下したのは浜松市で，1.4ポイントの低下である。

⑵15～64歳人口割合

神戸市の15～64歳人口の割合は59.0%で，大都市平均62.2%より3.3ポイント低い。

15～64歳人口割合が最も高いのは，東京都区部の68.7%で，低いのは北九州市の57.0%である。

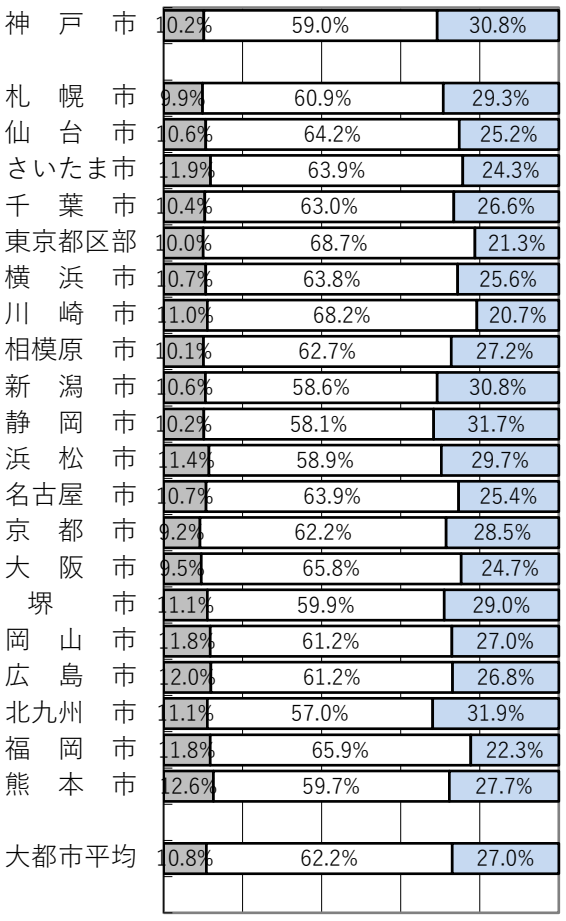
15～64歳人口割合は，前回調査に比べ，神戸市を含む８都市で低下している。最も低下したのは神戸市で，0.6ポイント低下した。

⑶65歳以上人口割合

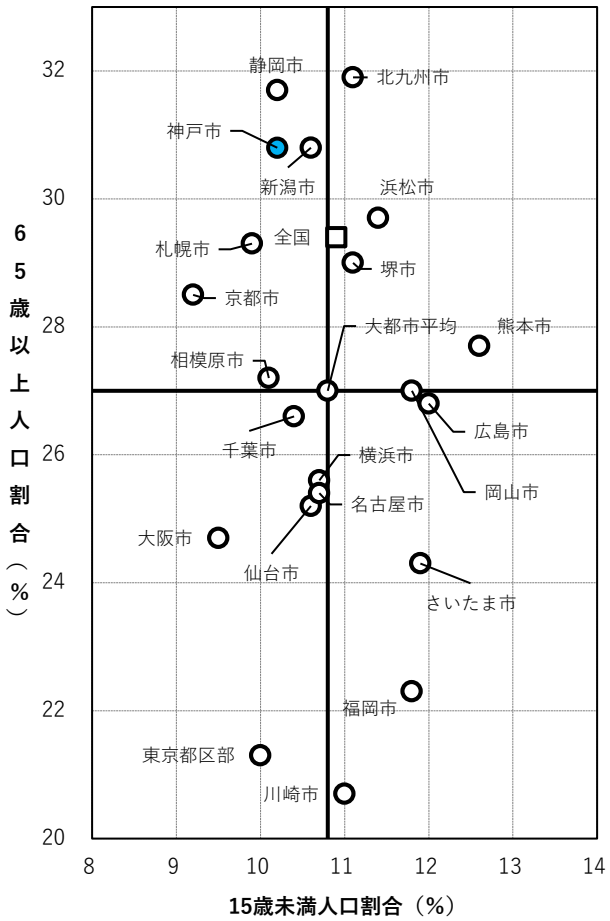
神戸市の65歳以上人口の割合は30.8%で，大都市平均27.0%と比べ，3.8ポイント高い。大都市で３番目に高い値となった。

65歳以上人口割合が最も高いのは，北九州市で31.9%，逆に最も低いのは川崎市の20.7%である。東京都区部，千葉市，大阪市を除く全ての都市で前回調査に比べ上昇しており，最も上昇したのは神戸市で，1.9ポイント上昇した。

図Ⅵ-1　大都市　年齢（３区分）別割合



図Ⅵ-2　15歳未満人口割合と65歳以上人口割合



2　年齢構成指数

神戸市は年少人口指数が低く，老年人口指数が高い

人口年齢構造を示す指標として，従属人口指数（年少人口指数，老年人口指数），老年化指数が用いられている。従属人口指数は，それぞれの性質の違いから，年少人口指数と老年人口指数に分けて使用されることが多い。

(1)従属人口指数

15～64歳人口100人に対する，15歳未満人口と65歳以上人口の相対的な大きさであり，15～64歳人口の扶養負担度を示す。神戸市の69.6は，大都市平均61.1より8.4ポイント上回っている。

従属人口指数が最も高いのは北九州市の75.4で，最も低いのは東京都区部の45.6である。

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{15歳未満人口+65歳以上人口}}{\text{15～64歳人口}} \times 100$$

(2)年少人口指数

15～64歳人口100人に対する15歳未満人口の数である。神戸市は17.3で，大都市平均17.4より0.1ポイント下回っている。

年少人口指数が最も高いのは，熊本市の21.1であり，最も低いのは大阪市の14.5である。

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{15歳未満人口}}{\text{15～64歳人口}} \times 100$$

表Ⅵ-3　大都市　従属人口指数

都　市	2020年（令和2年）	**2025年（令和7年）**	増減	順位 2020年（令和2年）	順位 **2025年（令和7年）**
神　戸　市	**67.7**	**69.6**	**1.8**	**6**	**5**
札　幌　市	63.2	64.3	1.1	11	8
仙　台　市	55.4	55.8	0.5	18	17
さいたま市	57.0	56.5	▲ 0.4	16	15
千　葉　市	61.8	58.7	▲ 3.1	12	13
東京都区部	48.0	45.6	▲ 2.4	21	21
横　浜　市	58.1	56.8	▲ 1.2	15	14
川　崎　市	48.3	46.6	▲ 1.8	20	20
相模原市	60.0	59.6	▲ 0.4	13	12
新　潟　市	69.9	70.6	0.7	4	3
静　岡　市	71.7	72.1	0.3	2	2
浜　松　市	69.6	69.8	0.2	5	4
名古屋市	58.7	56.5	▲ 2.3	14	16
京　都　市	63.3	60.7	▲ 2.6	10	11
大　阪　市	56.8	52.0	▲ 4.8	17	18
堺　　市	70.5	67.0	▲ 3.5	3	7
岡　山　市	63.6	63.5	▲ 0.2	8	10
広　島　市	63.5	63.5	0.0	9	9
北九州市	76.3	75.4	▲ 0.9	1	1
福　岡　市	52.4	51.7	▲ 0.8	19	19
熊　本　市	66.1	67.5	1.5	7	6
大都市平均	62.0	61.1	▲ 0.9		
全　　国	67.9	67.4	▲ 0.5		

表Ⅵ-4　大都市　年少人口指数

都　市	2020年（令和2年）	**2025年（令和7年）**	増減	順位 2020年（令和2年）	順位 **2025年（令和7年）**
神　戸　市	**19.2**	**17.3**	**▲ 1.9**	**11**	**11**
札　幌　市	17.8	16.2	▲ 1.6	18	16
仙　台　市	18.3	16.6	▲ 1.7	16	14
さいたま市	20.0	18.6	▲ 1.5	7	6
千　葉　市	18.5	16.5	▲ 2.0	13	15
東京都区部	16.1	14.6	▲ 1.5	21	20
横　浜　市	18.5	16.7	▲ 1.8	14	13
川　崎　市	18.3	16.2	▲ 2.1	15	17
相模原市	18.2	16.1	▲ 2.1	17	18
新　潟　市	19.6	18.0	▲ 1.6	8	8
静　岡　市	19.4	17.6	▲ 1.9	9	10
浜　松　市	21.8	19.4	▲ 2.4	2	4
名古屋市	18.9	16.8	▲ 2.1	12	12
京　都　市	17.1	14.8	▲ 2.3	19	19
大　阪　市	16.6	14.5	▲ 2.1	20	21
堺　　市	21.1	18.5	▲ 2.5	4	7
岡　山　市	21.0	19.3	▲ 1.7	5	5
広　島　市	21.7	19.6	▲ 2.1	3	2
北九州市	20.9	19.4	▲ 1.5	6	3
福　岡　市	19.4	17.8	▲ 1.6	10	9
熊　本　市	22.4	21.1	▲ 1.3	1	1
大都市平均	19.3	17.4	▲ 1.9		
全　　国	20.0	18.2	▲ 1.8		

(3)老年人口指数

15～64歳人口100人に対する65歳以上人口の数である。神戸市は52.2で，大都市平均43.7より8.5ポイント上回っている。

老年人口指数が最も高いのは北九州市の56.0で，最も低いのは川崎市の30.4である。

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{65歳以上人口}}{\text{15～64歳人口}} \times 100$$

(4)老年化指数

15歳未満人口100人に対する65歳以上人口の数で，人口高齢化の進捗状況を示す。生産年齢の影響を受けないため，人口高齢化の程度を示すのに適している。

神戸市は301.7で，大都市平均251.5より50.2ポイント上回っている。

最も老年化指数が高いのは，静岡市の310.5である。最も低いのは，川崎市の187.7である。

神戸市は年少人口指数を除く全ての指数において，大都市平均を上回っている。今後も高齢化が進んでいく中で，年齢３区分割合，各年齢構成指数の動きに注意を払う必要がある。

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{65歳以上人口}}{\text{15歳未満人口}} \times 100$$

表Ⅵ-5　大都市　老年人口指数

都　市	2020年（令和2年）	**2025年（令和7年）**	増減	順位 2020年（令和2年）	順位 **2025年（令和7年）**
神　戸　市	**48.5**	**52.2**	**3.7**	**5**	**4**
札　幌　市	45.4	48.1	2.7	8	7
仙　台　市	37.1	39.3	2.2	17	16
さいたま市	37.0	38.0	1.0	18	17
千　葉　市	43.3	42.2	▲1.1	10	13
東京都区部	31.9	30.9	▲0.9	20	20
横　浜　市	39.6	40.1	0.5	16	14
川　崎　市	30.1	30.4	0.3	21	21
相模原市	41.8	43.4	1.7	13	12
新　潟　市	50.3	52.5	2.3	3	3
静　岡　市	52.3	54.5	2.2	2	2
浜　松　市	47.8	50.4	2.6	6	5
名古屋市	39.8	39.7	▲0.1	15	15
京　都　市	46.2	45.8	▲0.3	7	9
大　阪　市	40.2	37.5	▲2.7	14	18
堺　　市	49.4	48.4	▲1.0	4	6
岡　山　市	42.7	44.2	1.6	11	10
広　島　市	41.8	43.9	2.1	12	11
北九州市	55.4	56.0	0.6	1	1
福　岡　市	33.0	33.8	0.8	19	19
熊　本　市	43.7	46.4	2.7	9	8
大都市平均	42.7	43.7	1.0		
全　　国	47.9	49.2	1.3		

表Ⅵ-6　大都市　老年化指数

都　市	2020年（令和2年）	**2025年（令和7年）**	増減	順位 2020年（令和2年）	順位 **2025年（令和7年）**
神　戸　市	**252.2**	**301.7**	**49.5**	**6**	**3**
札　幌　市	254.9	296.1	41.2	5	4
仙　台　市	203.1	237.1	34.0	15	13
さいたま市	184.6	204.6	20.0	19	19
千　葉　市	234.0	255.6	21.7	9	11
東京都区部	197.6	211.6	14.0	16	18
横　浜　市	214.0	240.0	26.0	12	12
川　崎　市	164.5	187.7	23.2	21	21
相模原市	229.5	269.1	39.5	10	7
新　潟　市	256.1	291.3	35.1	4	5
静　岡　市	269.2	310.5	41.2	2	1
浜　松　市	219.0	259.7	40.7	11	9
名古屋市	210.5	236.5	26.0	13	14
京　都　市	269.8	308.8	39.0	1	2
大　阪　市	242.5	258.8	16.3	7	10
堺　　市	234.5	261.5	27.0	8	8
岡　山　市	203.4	229.6	26.2	14	15
広　島　市	193.1	223.9	30.8	18	16
北九州市	265.1	288.0	22.9	3	6
福　岡　市	170.5	189.7	19.2	20	20
熊　本　市	195.1	219.8	24.7	17	17
大都市平均	222.1	251.5	29.4		
全　　国	239.4	270.7	31.4		